

第四章

「占いビジネス」「結婚」「性愛」のお悩み解決

■「どうすれば占いビジネスで儲けることができますか？」という相談へのアドバイス

よく占いの師や占いカウンセラーなど、人から相談を受ける立場の人から「どうすれば、占いのなビジネスで儲けることができますか？」と質問されますが、そのことを解説していきます。

■第一のポイント「嫌だと思つことはやらない」

まず、一番目に気をつけて欲しいのは「嫌だと思つことはやらない」ことです。

例えば、ある商業ビルでお店をやっている、近くのテナントが非常に儲かっているとします。そして、その真似をして自分もやりたくまりました。ただその看板のつくり方、音楽の流し方は自分の好みではありません。

また、お客さんを集めているところが霊感的な占いを売りにしていると聞いて「私もそういう看板を真似てやったほうがいいんでしょうか？」と質問されることがありますが、それでは駄目です。

そのことを「好き」と思っていればいいですが、「嫌だ」と思っていれば駄目です。嫌なことをやってはいけません。「嫌だけど・・・」と思つたままやってしまうと、嫌な顔や苦しい顔をしてお店にいることになってしまいます。お客さんはそんな嫌な顔や、苦しい顔をしているスタッフのところには寄ってきません。自分が楽しくなるような看板、音楽、雰囲気作りをつくるのがいいのです。儲かっ

ているからといって、他人の真似をする必要は全くありません。

■第二のポイント「また来たいと思わせる魅力」

次の重要なポイントは「また来たいと思わせる魅力」が必要です。占い師でも占いの盤を出して、それを丁寧に説明すればお客さんが満足すると思っっている方も多いと思いますが、実際はそうではありません。

「お客さん」というのは、自分の質問したい本当の問題をきちんと定義できてない状態で相談に来ます。本当の自分の問題が分からない状態できますから、持ちかける悩みを、そのままストレートに解こうと接客しても駄目なのです。それよりも「この人だったらなんだか知らないけどまた会いたいわ」という魅力を発揮するように努力して下さい。

■第三のポイント「高額商品を一つ用意する」

三番目は以外と思われるかもしれませんが『高額商品を一つ用意する』です。

印鑑なら十万円、水晶なら二〜三万円とか、何でもいいですが、高額商品を一つは持っておいたほうがいいです。というのも、人は生涯の中で、どういう人が印象に残るのかといえば、一番印象に残

るのは一番高い買い物をした営業マンの顔なのです。

私の場合、住宅を買ったときの営業マンです。彼は住宅メーカーを辞めています。未だに顔を覚えていますが、未だに年賀状のやりとりしています。決意して何千万という商品を買って、何十年間もローン組むわけなので、そういう営業マンは記憶に残ってしまうのです。

あるいは新車を買ったときの営業マンは皆さんも多分覚えていると思います。ですから、長くつき合いたいと思うお客さんがいる場合、高い値段で売れる自信のある商品が一つでもあるといいのです。

■「いつ結婚できますか？」という相談へのアドバイス

次のテーマは『いつ結婚できますか？』です。

奇法の訓練として考えてみましょう。「いつ結婚できますか？」この答えはわかりますか？

答えは『すぐにでもできます。本当に結婚したいのであれば今すぐにでもできます』です。占いを使ってできない言い訳でなく、できる言い訳だけを説明します。

具体的には年運をみます。今年の運、来年の運でもいいですが、すぐに結婚できる根拠を説明したほうが良い場合に使います。

【相談】「私はいつ結婚できますか？」

比肩・劫財・周囲からのすすめで結婚ができます。

食神・傷官・気持ちがゆるむときなので、今の仕事がひと段落して、ゆるんだときに結婚の出会いがあります。

官星・相手から自分が支配されることですから、異性から惚れられる、一方的に相手からよつてこられるという状態で、結婚できません。

財星・官星の逆です。相手を支配するのですから、自分から異性に寄っていきます。寄って行きたくなくて結婚できません。

印星・一緒にいると楽しい異性があらわれます。楽しい延長で結婚します。

絶対に、結婚できない言い訳はいつてはいけません。続いてより深い心理的などころをつつこんで

みましょう。

■「あなたが独身でいた理由はなに？」について解説する

タイトルを少し変えて「あなたが今まで独身でいた理由はなに？」というテーマで解説します。

「独身でいた」という理由も実は答えは決まっています。答えは「独身でいたいから」または「身のほうがいいと思ってるから」です。独身のほうがいいと思ってるから独身なのです。

もう少し心理的に説明します。独身がいいということは、同じ屋根の下で誰かと暮らす共同生活に自信がないということです。この共同生活に自信がない思いを突き詰めると「相手の言葉とか行動を許せない」思いがあつて、それが不安につながっているのです。相手を許せないのは、結局最後には自分が愛せないのです。

自分が許せないのは、はつきりいって自分が嫌いだからです。自分が好きではないのです。自分が許せません。今の自分が許せません。自分が許せないから相手も許せません。相手の欠点を認められないから独身がいいのです。ですからこの相談には「自分が嫌いな理由」を占いを使ってカウンセリグするという手法を使います。

まれに、こういうパターンでなく、仕事を立派にやりすぎて成功しすぎて権力を持った人

(特に女性の場合)、自分のスタッフを持ってしまつて自由自在に組織をコントロールできる場合は、この権力の甘い罠にはまつてしまい、独身のほうがいいというケースもありますが、これは今回のテーマのパターンには入りません。

例えば三十代半ばになつてスタッフを四・五人かかえ、スタッフを自由自在に支持して実績をドン・ドンあげていくと組織のトップに認められます。結果、権力も持つてきます。その気持ちよさや感覚を味わつてしまった人は、今更結婚という気になりません。

こういう人が稀にいますが、ただそういう人は占いかウンセラーとか占い師のような人のところには絶対相談に行かないですし、占いのなものにも関心を持ちません。自分に自信があり、今の自分自身で満足しているからです。

■ 「自分が嫌い」という相談への通変星でのアドバイス

では「自分が嫌いになる理由」という悩みを四柱推命の通変星を使つて説明します。使うのは月支元命でも、月柱天干でもいいです。その人と話しているうちにわかつてきますから、それを使つて下さい。(その人の命式にある通変星を使う)

【相談】「私が私を嫌いになるのはどういとき？」

比肩 「あなたの持つているのは、やりたいことをやる星です。本来やりたいことをやる人です。やりたいことがあるのに、やる勇気がなかったのでやらなかった、という状態では当然自分が嫌いになります」

劫財 「あなたは本来、夢中になって何かをやりたい人です。夢中になって何かをやりたかったのに勇気がなくてできなかった。そういう自分が嫌いです。自分が許せません」

食神 「あなたは本来、楽しくお金を使い、飲んだり食べたり遊んだり人生をエンジョイしたい人ですが、今まで楽しくなかったのです。楽しめない自分が嫌いなのです」

傷官 「あなたは本来、自分の才能を発揮したい人です。当然才能を発揮するので、他人とゴタゴタあります。ゴタゴタを怖れて自分の意見や才能を発揮できなかった場合、自分が嫌いになります」

偏財 「あなたは本来、全部自分に任せてほしい人です。そうは思っているけど、会社の上司や周り

が自分に任せてくれなかった。だから今の自分に満足してない。だから自分が嫌いなのです」

正財、「あなたは本来、コツコツなんでも計画的に物事をすすめていく人です。ところが、計画的にやりたいのに、なんだか周囲に流されてしまい、計画的な人生を生きてこなかった不満があるから自分が嫌いなのです」

偏官、「あなたは本来、融通がきかないくらい一生懸命な人です。一生懸命に何かを変えていきたいと思っっています。何かを変えていきたく気持ちがありません。何にも変えてこれなかった恨みがあるので自分が嫌いです」

正官、「あなたは本来、自己をきちんとコントロールする人です。ですから、ある程度の社会的地位があつて当然の星ですが、未だに上司から評価されてない。誰からも評価されてない。社会的地位もない場合に自分が好きになれません」

偏印、「あなたは本来、何でもかんでも関心を持ってやってみたい人です。いろんなことに関心があるけど、何もできない、何もやれてない。そういう不満があるから自分が嫌いです」

印綬「あなたは本来、自由に束縛されずにやりたい人です。ところが実際は、ずっと束縛されてきた人生だった、という恨みがあると自分が嫌いです」

今回は通変星の例で解説しましたが、自分の通変星らしさを出せている人とは、実はそんなに人生に悩みません。通・変・星・らしさは結局自分らしさだからです。人が何と言おうと関係ありません。

比肩・劫財なら勇気を出してやりたいことやればいいのです。偏財だったら、全部任せて欲しい思いですから、任せてもらえないなら会社を辞めて自分で会社つくってやればいいのです。それが自分らしさです。自分らしさが出てくると、自分が好きになります。自分が好きになってくると、相手を許せる度量がでてきます。結局、自分に満足してないのです。自分に満足してないから今までのように独身でいたいのです。これが奇法の解釈です。

■「異性に心を開くことができない」という相談へのアドバイス

次のテーマは『異性に心を開くことができない、どうしたらいいのでしょうか？』です。

この答えも決まっています。……「カッコをつけているから」です。これだけです。無理に自分をよく見せようという思いがあるから異性に心を開けないのです。もっと言えば自分の欠点を許せ

てないのです。

では「どういふ欠点が許せないのか？」を通変星でみてみましょう。使う通変星は月支元命でもいいですし、月上の天干、年の天干でもいいです。

【相談】「私は自分のどういふ欠点を許せていないのでしょうか？」

比劫「あなたは、人と比べて『勝ってる』そういう気持ちが欲しい人です。欲しいけど、人と比べて自分が劣っている現実がある、これが許せません。それでも異性に心を開いていきたいと思うなら『人に勝ちたい気持ちはあるけど、実際は勝ってない自分だ……。だけど、そんな自分が好きだ』と気持ちが変わらないと駄目です。自分を許すことです」

食傷「あなたは、言葉が巧みです。人を楽しませたい欲求がありますが『うまく人を楽しませることができない』という欠点が許せません」

財星「あなたは、人を支配する。抑える、コントロールしたい欲求があります。なぜなら、その人の抱えている気持ちがなんとなく分かるからです。『人の欲求に答えてあげよう』という価値観があ

るから、結果として支配するようになります。そうした場合、相手の反応が怖いのです。例えば異性をみて『これを困ってるな、じゃあなんとかしてあげよう』とズバッと入っていくと、異性から『あんな何するのよ』と反発をされるのが怖いのです」

官星 「あなたは責任感、常識、世間体、こういうものに敏感です。こういう価値観があるので異性の前に立つとどうしても緊張してしまいます。特に男性の場合、女性に対して『女性と付き合う以上、責任をとらないといけない』と思ってしまいます。ある程度役職のある人では『世間は自分をどう見るの?』と世間体が気になってしまい、素直に異性に心を開けません」

印星 「あなたは、自分の欠点を隠したい欲求が非常に強いです。印星は人気星といわれます。まわりから好かれないと思っっています。『好かれてなんぼ』という価値観を持っている人が、素直に自分を出してしまうことは、欠点を出してしまうことにもなります。だから欠点を隠したくなります」

■ 「片思いの状態から脱出したい」という相談へのアドバイス

次は『片思いの状態から脱出したい』というテーマです。

片思いの状態から脱出したいというのですが、まずこの言葉が駄目です。「片思い」と「両思い」この二つは敵対する言葉です。敵対関係の発想が頭にあるうちは何やってもうまくいきません。自分が片思いか、両思いかを分けて考えているということです。すなわち「両思いでなければならぬのに、自分は片思いだ」という脳みそが敵対関係の状態なのです。

実際、片思いの相談を受けてみると「なぜ相手は自分のことを好きにならないのでしょうか？」というセリフをよく聞きます。その人の心理状態は、「自分は相手を好き」です。これはいいでしょう。単純に好きだから。

ただ相談者の気持ち突き詰めてみると「自分が相手を好きだから、相手も自分を好きにならねばならぬ」という気持ち根底にあるのです。これが非常に恐ろしい発想なのです。ですから片思いの相談に来る人は、実は非常に恐ろしい人なのです。本当のところは「超エゴ」の人が相談に来ているのです。自分が相手を好きだから、相手も自分を好きにならなければならないという気持ちが必ずあるからです。

結局これは「自分は相手の心を支配したい」という相談なのです。とんでもないことです。こういう悩みを持つ人は、相手の立場に立って考えることができない人がほとんどです。つまり、こういう片思いの状態の人は、相談に来た時点でだいたいエゴイストと結論つけて間違いありません。ですからエゴイストが相談に来たということです。心の一番深い根っこは相手の心を支配したい思いです。

ところが、こういう相談者のエゴをズバツと切ってカウンセリングできる人は、実際にはあまりいません。ですから一般的な占い師としては、それとなく適当にカウンセリングして帰ってもらう程度でいいのかもしれない。その場合の便法を通変星を使って説明します。

【相談】「片思いの状態から脱出したいのですが・・・」

比肩 「あなたは、もともと異性とはフレンドリーですから、仲良くできるはずですよ」

劫財 「あなたは、もともと刺激的な恋愛がお得意ですから、そのまま頑張れば何とかかなります」

食神 「あなたは、もともと世話好きですから、その人をいろいろとお世話してみたら何とかかなります」

傷官 「あなたは、相手の欠点を必ずみえていますから、その人の欠点をサポートしてあげれば何とかかなります」

偏財 「あなたは全部俺に任せろという個性の持ち主ですが、片思いの悩みを持っていること自体、

偏財らしい個性が出ていないということです。ですから、もっとあなたの個性を出していけば何とかなります」

正財「あなたは、もともと誠実なタイプですから、まずはお互いに尊敬し合うところから始めれば何とかなります。お互いにいいところを認め合いましょう」

偏官「あなたは、何かに従いたいタイプですから、相手からいろいろと教えてもらえば何とかなります」

正官「あなたは、相手が尊敬できる人なら盲目的に従うことができますので、相手に完全に従ってあげば何とかなります」

偏印「あなたは、ユーモアたっぷりですから、あの人にそのユーモアで接すれば何とかなります」

印綬「あんまり考え過ぎないで大らかに、好き嫌いを抜きに楽しく接すればなんとかなります」

片想いの相談については、相談者が来た時点で「エゴな人が来た！」と思ってください。自分が相手を好きだから、相手も自分を好きにならねばいけないという人、相手を支配したいという動機の人
が来たと判断して下さい。

■「異性からあなたはどう思われているか？」という相談へのアドバイス

次のテーマは『異性からあなたはどのように思われているか？』です。

「好きな人から自分はどうか思われていますか？」という質問です。こういう心配と不安の心理を持っている人には、まず、とにかく安心と自信を与えなければ駄目です。不安と恐怖を持っている以上、はつきりいつて異性から嫌われます。ですから相談者に安心と自信を持たせればいいのです。ですから答えは決まっています。

「異性からどう思われていますか？」という、その思い自体が駄目なのです。今のままのあなたで充分魅力的じゃないですか、男らしいですよ。かっこいいですよ」「女らしいですよ。かわいいですよ」と言っておあげればいいのです。そうやって安心と自信を与えてあげればいいのです。占いで生年月日出して「あなたは異性からこう思われていますよ」と、まともに答える必要はありません。

「安心と自信を持てば自然と異性からもてますから、まずいいところを誉めてあげことです。これを通変星の例に説明していきます。」

【相談】「私は好きなあの人がどう思われているのでしょうか？」

比肩「あなたは目上に対してもはつきりものをいいます。それがあなたの魅力です」

劫財「あなたは見た目は非常にソフトに見えますが、実際は負けず嫌いです。その負けず嫌いなどころがあなたの最大の魅力なのです」

食神「あなたはとてもおおらかです。そのおおらかさがあなたの最大の魅力です」

傷官「あなたは非常にシャープな感性を持っています。それがあなたの最大の魅力です」

偏財「あなたは社会と積極的に関係を持っていこうとします。社会性や社交性があなたの最大の魅力です」

正財、「あなたは非常にまじめなタイプです。約束したことは百パーセントきちんと守ります。そこがあなたの最大の魅力です」

偏官、「あなたは古いものを破壊して、新しいものを何か創り出します。そこがあなたの最大の魅力です」

正官、「あなたは目上に対しても目下に対しても、きちんと目配りができる礼儀正しい人です。それがあなたの最大の魅力です」

偏印、「あなたは発想そのものが変わっています。その非凡なところ、ユニークさが最大の魅力です」

印綬、「あなたはいつも新しい知識を求めている、非常に好奇心の強い人です。それがあなたの最大の魅力です」

同じテーマを十干で解説します。

【相談】「私は好きな人からどう思われているのでしょうか？」

甲「あなたは理屈っぽいところがあります。もうちょっと緊張を解いて、心から笑ったり悲しんだりしたほうが魅力的です」

乙「あなたは細かいところまで気を使っているいろいろ大変ですね。でもそういう細かいところに気を使うのがあなたの魅力なのです。」

丙「あなたは体の中に非常に熱い血が流れています。それがあなたの魅力なのです」

丁「あなたは何でも丁寧にゆっくりきちんとやるタイプですね、それがあなたの最大の魅力です」

戊「あなたは非常に頑固でなかなか自分の考えを曲げないですが、何より人との信頼関係を大事にしますね。それがあなたの魅力です」

己、「あなたは泣いたり笑ったり悲しんだり、非常に忙しいタイプです。感情を表に出してワーワーしますが、それがあなたのとつても素敵な魅力です」

庚「人の言うことを聞かないタイプなので、相談者として来ることは実際は少ないですが、もし来たら「あなたは人の意見を聞かない強さがあなたの魅力なのです」

辛「あなたは非常に感性が鋭いタイプです。打てばカーンと響く豊かな感性があります。それが素敵な魅力です」

壬「あなたはいつも時代の流れを見て必死になって頭を使っています。それがあなたの魅力です」

癸「あなたは周囲の人から常に愛されます。人から好まれる性格をしていますが、それがあなたの魅力なのです」

こういう質問には自信と安心を与えて帰ってもらうことが重要です。

■体の相性、セックスの相性、Hの相性への相談アドバイス

次は、体の相性、セックスの相性、Hの相性がよくないという相談です。

はつきり言って肉体の相性というものはありません。実際に相談を受けてカウンセリングしていくと、本当の意味で肉体の相性で困っている人はまずいません。本当の問題は、パートナーと本音で会話してないところにあります。

例えば男性の場合、セックスのときにパートナーに「ああして欲しい、こうして欲しい」といろいろな要求をすることがあります。自分の気持ちを正直に言っているのだから、これは非常にいいことです。ところが女性の場合、パートナーに対して要求しにくいと思う人が多いのです。ところが、その状態が長い期間続くと、「体の相性、肉体の相性、Hの相性が悪い」と思うようになってしまふのです。つまり自分の正直な肉体の欲求をパートナーに伝えていないのです。言っていないだけなのです。

■肉体の欲求を伝えられない女性の悩みを解決するには？

こういう状態の人には、肉体の欲求あれば「あそこを触って欲しい」とか「いきなり結合に入らないで欲しい」「ああして欲しい、こうして欲しい」と具体的に欲求を口に出して言いなさいといってもなかなか実行しません。そういう場合にはどういうアドバイスをするかというと、仕方がないので

セックスの結合時間を三時間以上取りなさいといいます。

結合して運動するだけがセックスでないですから、ただくつついているだけでいいのです。ただくつついているだけの状態を目標にしなさいといいます。

そうするとまず体の緊張が取れます。体の緊張が取れ、心の緊張も取れ、お互いに一体となって会話が始まるのです。例えば三時間もじーっと結合して一言も話さないままではまずありません。大体一から二時間が過ぎてくると何か会話が始まるのです。完璧に心が解放された状態の本音が言いやすいのです。ですから「三時間以上時間をかけてセックスすると大体の問題は解決する」とアドバイスします。

性の相性の問題は通変星を使ってアドバイスできるのですが、この場合、二人の生年月日から通変星を出します。出し方は日干を使ってもいいですし、セックスの相性なので日支と日支でもいいです。または日干と日支でもいいです。とにかく通変星を出してみます。

【相談】「パートナーとの性の相性がよくないのですが・・・」

比肩、「あなたは、もともと人間関係に緊張感の無いほうです。ですからベッドでも友人のように何でもリラククスして話ができるはずですよ」

劫財、「あなたは刺激を求めますので、ちょっとアクロバティックな体位を試してみるとか、いつもと違ったことをやってみるといいでしょう。ベットでの刺激を工夫してみたらいいです」

食神、「あなたはサービスしたり、されたりが好きです。相手に『なにかしてほしいことない?』とたずねてみるといいでしょう。あるいは逆に『こんなサービスしてよ』と要求してみたらいいのです」

傷官、「この星を持っている人は大体の場合コンプレックスを持っています。ですから、あなたは欠点を相手にさらけ出してみたらいいです」

偏財、「この星の象意はお互いに支配されたり、支配することです。ですから、あなたはセックスの場面でもやってみたいこととか、やられてみたいことがあるはずですよ。それを口に出して言ってみたらいいのです」

正財、「この星は全部相手にゆだねてみる関係なので、あなたは『頭のとっぺんから足の先まで全部相手の自由にしてもいいよ』とゆだねてみたらいいですよ」

偏官「ちよつと人との関係に無理や緊張感が発生してしまう場合があるので、あなたか相手のどちらかが、何か嫌がってないか聞いてみるんです。『あれしていい?』『これしていい?』『嫌じゃない?』その都度、確認してみたいいいでしょう」

正官「あなたは、ちよつとまともすぎます。理性的過ぎるところがあるので、もっとバカになってみることです。理性とか常識とかを解放してめっちゃくちややつてみることです」

偏印「もともと快楽の関係です。ですからあなたは脱日常の世界が好きです。生活臭がするような環境では燃えないので、普段とは全く違うような環境を用意して楽しんでみることです」

印綬「どちらかが受身になりすぎる傾向があるので、あなたは我慢しないで自分から攻めてみるとういでしょう。ただ黙って攻めるだけではよくありません。『あれしたい、これしてみたいけど、いいですか?』と相手の了解をとりながら、攻めてみればいいのです」

■体の相性の問題は四柱推命で分析しても解決しない

Hの相性、セックスの相性の相談で重要なのは、まともに体の相性を四柱推命を使って分析しても仕方ありません。この悩みが一番根本にある問題は、パートナーと本音で会話できてないことなのです。ベッドで自分の本音を出してないことが一番の問題なのです。これは相談者自身、気がついてません。本当の問題に気がついてないのです。その点を踏まえて、占いカウンセラーとか相談を受ける立場の人は工夫する必要があります。

また、まぐわい（＝セックスの意味）には、教える側と教えられる側があります。これは非常に重要なことですが、教える側は実は女性なのです。まぐわいのにきに、男が一番がっかりするのは、女性が喜んでなかったり、満足してない場合です。体が反応してない場合も同じです。男ががっかりしてしまいます。

■女性が喜ばないまぐわいはしないほうがよい

ですから力づくで女性をレイプしたとしても男は絶対に満足できないのです。むしろ寂しさや孤独な想いがどんどん湧いてきてしまい、またレイプしてしまうのです。レイプする人は絶対に満足しないので、次から次から次へとレイプを繰り返すのです。それほど、まぐわいにおいて、女性が喜ぶこ

とは非常に重要なことなのです。女性が喜ばないまぐわいは、しないほうがいいのです。

ところが女性が喜んでいるのか、満足しているかどうかは、男からみると非常にわからないものです。表情とか体の反応だけで判断するしかありません。ですから具体的に言葉に出して、「今回は百点」「今回は八十点」「今回は四十点」とか点数が出てくればわかりやすいですが、点数がでてこないのも男はわからないのです。

だから男は教えられる側なのです。勘違いしないで欲しいのは、男性関係が多い女性でなければ男を教られないものでもありません。テクニツク的なものを教えるということではありません。今、自分がどのくらい満足しているのかを教えることができればそれです。だから要するに、変な我慢をするなどということでは、男が欲情して仕方ないから、下になって我慢してる女性、これが最悪です。

■ただ我慢するだけのまぐわいはNG

女性は我慢してはいけません。単に我慢して、下になってただじーっと「早く終わってくれないかな」と思って目を閉じて待っている状態では、女性をどんどん不感症にしていきます。例えば「挿入が早過ぎる」「動き過ぎる」「運動会じゃないんだから、もっとゆっくりできないの!」と言えればいいのです。

「ゆっくり丁寧にできないの」「あまり強くしないで」と言えばいいのです。自分の言葉で満足してないことを伝えればいいのです。

そうすれば男は「ああ今の行動は彼女を満足させてないんだな」と思います。そして男は考えて工夫します。「あれはどう？これはどう？」といろいろ試みますので、結果、駄目なら駄目と言えはいいのです。一番いいのは「それ今五十点」「これは百点」のように点数で表現すると、よく分かります。「まぐわい」については経験豊富な男が女性に教えるもののように、本とか週刊誌などのメディアはいつていますが、本当はそうではありません。

毎回の行為ごとに男性には、女性の精神構造や肉体構造を教えてもらっているという謙虚さが必要です。ですから、まぐわいときは女性を教師役と思わなければいけません。我慢して「旦那の相手だから」とか「結婚してしまった相手だから我慢しよう」と思っているのは駄目なのです。そういうカップルは必ず破綻します。

■「人生の分かれ道」への相談アドバイス

次のテーマは『人生の分かれ道』です。

これも答えは決まっています。占う以前から答えは決まっています。普通占いの正法を使うと、い

ろいろな技法を使って吉とか凶を出して解答します。例えば、命式と年柱が沖すれば運が悪くなっていくとか、正官が来るとよくなる、傷官の運が来れば人間関係で傷がつく、劫財が来ればお金を失う、偏財が来ればお金がまわるとかいいいます。

しかし奇法では、こういう解釈は使いません。というも、実際の現実では正法の理屈どおりにはならないからです。

実際のところ、それまでの人生で一生懸命、沢山の困っている人を助けてきた人は、どんな運回りの星が来ても自動的にいいほうに向かつて行くのです。

逆に困っている人を見ても無視してきた人とか、「困っている人を助けたら損する」とか発想する人、損得計算して困っている人を無視してきた人は、どんなに運が来ても悪いほうに行ってしまう。これは決まっています。占いではわからない部分です。占いと関係ないところで決定されます。

■「困っている人を助ける」の本当の意味

しかし多くの人を助けるといつても、ではボランティアや、直接何か社会奉仕をしろというものはありません。例えば、比肩なら比肩らしい人生を歩むことで、自動的に困っている人を助けるようになっていくのです。食神なら食神らしい人生を歩んでいると困っている人を助けるようになってい

るのです。実は全ての人が、困っている人を見ると助けることのできる才能を持っているのです。このことを通変星で解説します。

比肩・劫財 人よりも大きな責任を持つても耐えられます。「わかりました、私がやりましょう」という、そういうチャンスが必ずあつたはずです。

食神・傷官 人に喜んでもらえるサービスを実行するチャンスがあるはずです。そういうチャンスがあればいいのです。

偏財・正財 言われた以上のことをやらないといけません。例えば財星は「なぜ上司が自分に対してそんな指示を出すのかな」と必ず考えます。そして「会社はこういう事情だから自分にこういう指示が来たのか」と理解することができます。ですから指示された以上のことをやって当然なのです。これが困っている人を助けることになるのです。

偏官・正官 今まで「ハイわかりました」と言ってきましたか？たとえ上司から変だと思ふ命令がきても「できません」というのでなく、「ハイ！やります」と言ってきたでしょうか？官星はこう言え

る才能を持っているのです。上司が無理な命令をしたと思っ
ているのですから、そうすると上司は「あ
あ助かったな」と思います。つまり困っている人を助けたこと
になります。

偏印・印綬 いろいろな知恵やアイデアを出してきましたか？
周りの人を楽しませてきましたか？
印星の人はそういうことができるはず
です。会社が暗いムードになっ
ているときに、いろいろなアイ
デア出してまわりを楽しませ
ることが出来ます。すると困
った人を助けたことになり
ます。

無理をしなくてもいいのです。持
って生まれた星を使えばいい
だけです。自分らしく生きれば
自動的にこうなるのです。自
分らしい道を歩んできた人は
「人生の分かれ道」でも自動
的にいい方向に行きます。

第五章

「異性とのつき合いかた」のお悩み解決

■「気になるあの人が安心して心を開く異性とは？」への相談アドバイス

次のテーマは「気になるあの人が、安心して心を開く異性とは？」です。

この答えも既に決まっています。まず占いの正法を使って説明すると「自分に無いものを持っている異性」がその答えです。四柱推命の十干では干合干がこれにあたります。

例えば、乙の干合干は庚です。乙が持つてない部分を庚は持つています。ですから気になるあの人が乙ならば「気になるあの人（乙）は庚の人に対して安心して心を開きやすい」と答えることができます。これが正法による解説です。ただし実際にあの人が、どんな人物に心を開くのかは別の見方が必要となります。それを見分けるポイントが、私利私欲の度合いです。

■人間が心を開きやすい人とは

自分に立場を置き換えて考えればわかると思いますが、いつも私利私欲に固まっっていて、自分の得することばかり主張する人に「自分の悩みを打ち明けたい」とか「自分の心を見せてあげたい」と思えますか？・・・普通思いません。私利私欲に固まった人よりも、公的な欲で動いている人、例えば「自分の所属しているチーム全体をなんとかしたい」「自分の所属している組織全体をなんとかしたい」あるいは「自分の所属している業界全体をなんとかしたい」という思いで動いている人に、人間は安

心して心を開くのです。これが奇法の答えです。

これから正法を使って解答していきます。甲の干合干は己で、乙の干合干が庚ですが、相談者にこれをそのまま言うのでなく「気になるあの人が心を開くのは、気になるあの人の欠点の部分を持たない人です」と言い回しを変えて説明しなければ駄目です。そして先ほどの奇法の答えを大前提として覚えておいて下さい。

【相談】「気になるあの人が安心して心を開くのはどんな異性？」

甲・気になるあの人はプライドが高い人です。自分でも、それは嫌なところだとわかっています。ですからケチなプライドなど持つておらず、より温かい情を持っている人に安心して心を開いていきます。

乙・気になるあの人は、どうしても失敗を怖れる慎重なタイプです。それは自分でも嫌いなところですから、自分とは反対タイプで、失敗を怖れずどんどん行動する人に心を開いていきます。

丙・気になるあの人は自分が目立ちたい人です。ですから逆に目立ちたい欲求があまり無い人、地味

な人、そういう人に安心して心を開きます。干合干でいえば辛の人です。

丁・気になるあの人はどうしても穏やかです。そのため人間関係のゴタゴタも避けたいと思います。しかしそれが欠点であることもわかっています。ですからゴタゴタでも何でも覚悟して「よくないことはよくない」とはっきり言えるタイプの人に、安心して心を開いていきます。干合干では壬の人です。

戊・気になるあの人は頑固です。どうしても自分の考えにこだわるところがあります。ですから逆に自分の考えにこだわらない人、非常に従順な人に心を開きます。干合干では癸の人です。

己・気になるあの人は自分勝手な感情によく振り回されます。ですから自分勝手な情に振り回されない人に安心感を抱きます。自分勝手な情をコントロールし、何事も理論で整理整頓できる人、そういう人に安心して心を開きます。干合干では甲の人です。

庚・気になるあの人は周りのことをあまり気にしません。そういう自分の欠点が嫌いですから、逆に人を大切にして心配りのできる人に心を開きやすくなります。干合干では乙の人です。

辛 気になるあの人は何かと非常にデリケートです。そのデリケートさが欠点であり嫌に思っているところですよ。ですから逆にデリケートではない、どちらかというと自信たっぷりの人に安心して心を開いていきます。干合干では丙の人です。

壬 気になるあの人は、常に世の中の先々を読みます。時代の先を読んでいつも考えています。そのように先を心配してしまうところが疲れる部分です。ですからあまり先々のことを考えないタイプで、穏やかになれる人に心を開いていきます。干合干では丁の人です。

癸 気になるあの人は柔軟に人に合わせることができます。誰にでもいい顔ができますが、それが欠点だと自分でも思っています。ですから逆に、人に合わせることも無く自分の信念を貫く人に心を開きます。干合干では戊の人です。

占いの正法を使う場合でも、このように心理的に深い読み方をしながら使ってほしいと思います。

続いて同じテーマを通変星で解説してみます。この場合は月支元命か月柱天干、または年干の通変

星のどれかを使います。

気になるあの人は、持っている通変星の影響によって、どういうタイプの異性に心を開きやすくなるのでしょうか？

先程の十干は精神の欲求をあらわしましたが、通変星は価値観をあらわします。価値観とは「あつそれはいいね」とか「それは悪いね」などの、あの人が価値を置くところです。そのため通変星で相性をみる場合は、似たもの同士の方が心を開きやすくなると判断します。価値観が似たもの同士でなければ、なかなか心を開くことはありません。価値観が違う相手には「どうせ言ってもわからない」と心が閉じてしまうからです。

■「気になるあの人が心を開く異性とは？」への通変星での相談アドバイス

比劫・前へ前へと前進するタイプです。あの人の価値観がそうですから同じように前進するタイプの人に安心して心を開きます。

食傷・とにかく自分を表現します。自分を前面に出し、あまり隠しません。ちょっと出しゃばりなタイプですから、同じように自分のことを何でもしゃべってしまう人に心を開きます。

財と官は飛ばします。

印星「偏印・印綬とも快樂タイプです。楽しく生きたいという価値観を持っています。苦勞しようとか、我慢して、というタイプではありません。ですから「人生は楽しくおかしくが第一番よね」と思っているタイプに心を開きます。

■財星と官星がもつ性質とは

財と官を残した理由を説明します。実は、今説明した三種類の通変星のグループは、人間関係において他人のことを重視しません。比劫・食傷・印星のグループは、自分を中心としてエネルギーがまわっているグループなので、他人の状態がきつかけとなつて自分が変わることがありません。

ところが財星には「相手の心を読んで、それに合わせて自分が何をするか？」という意味合いがあります。官星には「相手が自分に対して、何を求めているのだろうか？」という価値観を持っています。どちらも始めに相手ありきの通変星なのです。「他人の状態や価値観から出発して、次に自分はどう行動するか」という価値観を持ちます。

ですから財星と官星を持つている人で、自分の私利私欲をそんなに主張しない人や、公的な精神が

強い人であるならば、占いの相性は関係なく、基本的に安心して心を開くことができる人だといえます。ですからもともと財星や官星を持つ人は、カウンセラーや中間管理職のように、目下や目上をコントロールする立場で、上手に振る舞うことのできる資質を持っているのです。

■ 「異性が嫌いになるあなたの部分」という相談へのアドバイス

次は「異性が嫌いになるあなたの部分」というテーマです。

実際の悩みの現場では「私のどんな点が異性に嫌われるのでしょうか？」という相談が多いですが、この「嫌い」という言葉も非常によくありません。というのも、この発想が既に好きと嫌いを分ける二分思考になっているからです。常に頭の中で、「好きなのか嫌いなのかどっちなの？」と選択を迫られています。

頭の中が二分思考である限り絶対に開運しません。好きも嫌いも同じエネルギーの歯車ですから「嫌い嫌い」という思いは、あるきっかけで瞬間に「好き好き」の思いに変わります。「好き好き大好き」というのは、ある瞬間に「超大嫌い」になります。これは実際の男女の感情関係のもつれの原因としてよくあることです。

ですから相談を受ける側は、「好きとか嫌いとかを、分けられないのです」とか「分ける発想は駄目だよ」

とうまく洗脳するといえますか、相談者に考え方を変えて帰ってもらわなければいけません。

それでは、具体的にどうアドバイスするのか星座を使つて説明します。

太陽が入っている星座をみるか、星が三つ以上入っている星座をみます。そして「あの人に嫌われるところ」という発想を「あの人には理解できない優れた長所」と変えていきます。このように説明すれば、相談者は好きか嫌いかの二分思考から離れることができます。「あの人が、私の長所をわかってないだけなのです」と解釈できれば二分思考が解けます。このように溶かしたほうが開運するに
はよいのです。

【相談】「私のどうところが異性から嫌われるのですか？」

おひつじ座「あなたには行動力があり、即断即決できる長所があります。あの人はそれをわかっていません。ですから『何でも思いつきで突っ走るから嫌い』とあなたに言ってくるのです」

おうし座「あなたはとても現実的で安定志向です。あの人はそれを『停滞していてつままない』と思っ
てしまいます。安定志向があなたの優れた長所だとわかってないのです」

ふたご座 「あなたは変化が大好きです。ちょっとしたことでもいろいろと変わります。あの人はすぐ変わるところが嫌なのです。ですから『昨日言ったことと今日言ったことが違う!』と怒ったりします。あなたの臨機応変に対応できるところが長所だとわかってないのです」

かに座 「あなたは非常に人情的です。人情で動きます。あの人はそれを認めることができません。ですから『人情なんかには左右されないで、もっとドライにスパッと決めてよ』とあなたは怒られてしまうのです」

しし座 「あなたはやりたいことをドンドン実行します。やりたいことをやるという優れた長所をあの人はわかっていません。ですから『頑張つてやっているのは分かるけど、ちょっと方向性ずれてない?』と嫌悪感をあらわにします」

おとめ座 「あなたはとても分析的で、非常に細かい分析をします。あの人はそこを長所だと認めていません。ですから『分析ばっかりしてイラつく!』とあなたに言ってくるのです」

てんびん座 「あなたはいつも人間関係のバランスを考えています。そのため、あまり感情を表に出

しません。あの人はそれが長所だとわかってません。ですから『ハッキリ感情を出してものを言つてよ!』ときつく要求してくるのです」

さそり座。「あなたは魂の触れ合いを求めます。それは長所なのですが、あの人は認めていません。ですから『他人の心の中に土足で入つてこないでよ!』とあなたに言つてくるのです」

いて座。「あなたは社会的な使命感が非常に強い人です。それは長所なのですが、あの人はわかっていません。ですから『仕事やあなたの責任感より、もっと一緒にいてよ、もっと私と遊んでよ!』とあなたに要求してくるのです」

やぎ座。「あなたは一生懸命コツコツと努力します。あの人はそこが長所であることが理解できません。ですから『自分が努力するのはいいけど、私に同じように要求するのはやめて!』とあなたに言つてくるのです」

みずがめ座。「あなたはちょっとユニークな感性の持ち主です。そして何事にも反発するところがあります。それは長所なのですが、あの人はその良さを認めていません。ですから『あなたの判断は間違つ

ているよ!』とあなたに言ってくるのです。誰も気づかないところをみつけて反発している、あなたの良さをわかってないのです」

うお座「あなたは非常に幻想的です。人類全てを愛したいという部分があります。あの人はそれが長所だとわかっていません。ですから『そんなことよりも、さっさと今の現実でしょ、これをどうするの、あれをどうするの!』とあなたに言ってくるのです」

以上が星座を使った解答です。続いて通変星を使った事例を紹介します。

相談「私のどっぴろっぴろが異性から嫌われるのですか?」

比肩「あなたは周りから反対されても実行してしまいます。あの人は、そういう意地っ張りなところを長所として認めていません。ですから『意地っ張りなところが嫌い!』と言われてしまうのです」

劫財「あなたは何でも夢中になってやってしまいます。ですから欲しいものがあればすぐに買ってしまいます。それは長所なのですが、あの人はわかっていません。ですから『浪費ばかりしているか

ら嫌い!』と言ってくるのです」

食神、「あなたはいろいろと気分が変化します。その変化は周囲の雰囲気に合わせて、うまく自分の対応を変えられる長所なのですが、あの人はそれが気に入りません。ですから『あなたの気まぐれなところが嫌い!』と言われてしまうのです」

傷官、「あなたは非常にするどい観察力を持っています。いろいろと指摘をします。しかしあの人はいろいろ指摘するところが気に入りません。ですから『あなたの言ってることはわかるけど、言い方がきつくて嫌い!』と言われてしまうのです」

偏財、「あなたは社会性が非常に強いです。そして社交的な面を持っています。しかし、あの人にはそれが気に入りません。ですから浮気性の人間に見えるので『あなたは誰にでも馴れ馴れしくするから嫌い!』言われてしまうのです」

正財、「あなたは非常に堅いです。発想が堅く真面目なところが長所なのですが、あの人はそこが気に入りません。ですから『もうちょっとワガママ許してよ、もう嫌い!』と言われてしまうのです」

偏官、「あなたは新しい時代の流れに合わせて、どんどん自分と周りを変化させ改革していきます。あの人はそれが気に入りません。ですから『あなたの変化についていけない、疲れるから嫌!』と言われてしまうのです。(自分を変えることは過去を捨てることです。本当はなかなか難しいことです。偏官にはそれを平気でやってのける長所があります)」

正官、「あなたは非常に自制心が強いです。そのため昔の失敗や自分の恥ずかしい部分を表に出したくありません。それは長所なのですが、あの人はそれが気に入りません。ですから『過去の自分を出せなんて信用されてないみたいで嫌!』と言われてしまうのです」

偏印、「あなたはとても好奇心が旺盛です。やりたいことがいろいろとあって、すぐにコロコロと変化します。あの人はそれが気に入りません。ですから『あなたのコロコロ変化するところが嫌!』といけない』と言われてしまうのです」

印綬、「あなたは精神世界に重きを置く傾向があります。スピリチュアル的な発想をする長所がありますが、あの人はそれが気に入りません。ですから『もうちょっと算盤はじいて、きちんとやったほ

うがいいんじゃないの!』と言われてしまうのです」

この問題のポイントは、相談者が男性である場合「好きになった女性から嫌われたくない」という恐怖心を持っているところです。逆に相談者が女性であれば「好きになった男性から捨てられたくない」という恐怖心を持っているところです。ですから相談される側は、この恐怖心を溶かしてしまわなければ駄目なのです。

■恋愛相談でお客様の根底に恐怖がある場合のアドバイス法

それでは、恐怖心を溶かすためにどうするのか？

まず「好き」とか「嫌い」の敵対関係にある言葉を溶かしてしまいます。

それでは溶かすためにどうするか？

例えば「あなたの気になる人は、あなたの長所を欠点と見てしまっているから嫌いになっているの

かもしれませんよ」というニュアンスで解答を組み立て、柔らかくアドバイスします。すると相談者の好き嫌いの二分思考が溶けていきます。

■占いの「相性問題」について解説する

次に「相性の良い悪い」の問題を説明します。「占い理論」としての良い相性・悪い相性は確かに存在しています。

しかし、恋愛の相性を相談される実際の現場では、占いを使うまでもない悩みや、占いを使うべきでない相談が圧倒的に多いのです。恋愛の相性についての相談では、占いを使う必要はほとんど無いといってもいいぐらいです。

■占い理論上最高の相性でもうまくいかない理由

なぜならまず第一に、「自分に対して自信と安心感が無い人には、どんな相手と出会ったとしても、相性は必ず悪い」という現実があります。占い理論上、最高に相性が良いとされる相手でも駄目です。ここで言う「自信」とは「威張る」ことではありません。何か難しいこと、困った出来事、事件が起こったときに「大丈夫だ、自分は大丈夫なはずだ」と思える自信のことをいいます。心の根っこに「な

んとかなる」という思いがある人は、どんなに時代が変わっても、困難になっても、不景気になっても、たとえ会社からリストラされても、一番根っこの部分に安心感があるのです。こういう人はだいたいどんな人との組み合わせでも相性がいいものです。というより、こういう人は自然と、自分と同じように、心に自信と安心感を持つ異性と恋愛をして、カップルとなる傾向があります。

■心が恐怖心に支配されている人の発想とは

心に安心感がない、恐怖心に支配された人は「もしこうなったらどうしよう」「もしこれができなかつたらどうしよう」「もし会社をクビになったらどうしよう」「もし住宅ローン返せなくなったらどうしよう」「もし病気になるたらどうしよう」「もし年金がもらえなかつたらどうしよう」という発想を常にしています。こういう人は不思議と、自分と同じような、不安と恐怖を心に持っている異性と恋愛してカップルになっていきます。そして安心感を心に持つ人と、恐怖感を心に持つ人が恋愛してカップルになることは、ほとんどありません。

そして電話相談や占いカウンセラーに悩みの相談に来る人というのは、はっきり言ってしまえば、不安と恐怖に心を支配されている人達です。ですから、そんな人がどんな素晴らしい異性と恋愛関係になったとしても相性は悪いのです。

「恐怖に支配された男性は、例えば、聖母マリアみたいな慈愛に満ちた女性が好意を示してくれたとしても、やはり不安と恐怖を感じてしまうのです。「こんな素敵な女性が自分を相手にするはずがない」と不安と恐怖が沸き起こり心がそれに支配されてしまいます。」

女性の場合も同じです。イエス・キリストや弘法大師のような聖人みたいな男性と仲良くなっても「こんな立派な男性が私を相手にするはずがない、そのうち遊ばれて捨てられるはずだ」と不安と恐怖の感情が発生してしまうのです。

■恋愛相談で役立つ奇法の発想とは？

自分に自信と安心感がある人は、自分を許せる人です。自分に欠点があってもそれを認めて許している人です。これは非常に重要なポイントです。

自分の欠点を認め許しているので、相手の欠点も認めて許すことができます。相手の欠点を許せる人ですから、どんな人が相手になっても相性がいいのです。占いを使う必要が無いというのはこういう理由からです。

ですから、占いの現場で恋愛の相性相談を持ちかけられた場合、占いの知識や理屈をこねくりまわすよりも、奇法の発想を覚えておいたほうがよっぽど役に立ちます。そして実際の現場では占いの正

法と合わせてアドバイスしますので、これから正法を使った説明を紹介していきます。

■男女の相性、占星術のアスペクトでの解説法

男女の相性診断に西洋占星術を使う場合、金星と火星のアスペクトを使います。男性は火星、女性は金星の入っている星座をみます。そして、その星座間のアスペクト（星座間がどれだけ離れているのか）をみます。そして相性をみる場合、二人が出会ったところの初期の相性、肉体関係を持った後の相性、同棲や結婚をしてお互いに慣れてきて、馴れ合いになつてきたときの相性の三段階を区別してみていきます。

火星と金星のアスペクトが0度、火星と金星が同じ星座に入っている場合です。火星と金星が同じ星座にあるので、恋愛初期はお互いの関係に無理がありません、四柱推命でいうと比肩的な相性です。お互いに共通する内容が多いので違和感がありません。肉体関係を持った後も、割と早く一体感を味わいます。結婚して慣れてくると、お互い生活の“におい”を感じるようになるので異性としての刺激は薄れてきます。

占星術（ホロスコープ）の主なアスペクトの特徴

記号	確度	名称	調和・不調和	意味
♌	0度	コンジャンクション	両方	協調
✳	60度	セクスタイル	調和	援助
□	90度	スクエア	不調和	障害
△	120度	トライン	調和	幸運
♋	180度	オポジション	不調和	緊張
♎	150度	インコンジャクション	不調和	圧迫
♊	45度	セミスクエア	不調和	障害
♏	135度	セクスコードレート	不調和	困難

火星と金星のアスペクトが三十度、星座が隣り合っている場合です。例えば、おうし座とおひつじ座のように隣り合っている場合です。四柱推命でいうと食神傷官の関係です。恋愛初期は、飲んだり食べたり飲食を共にするような心地よさのある関係です。肉体関係を持った段階では、常にくっついていたい相性になります。慣れてくると、だんだんお互いの役割分担が明確になっていきます。

火星と金星のアスペクトが六十度、四柱推命でいう財星・官星と同じような働きをします。同じ内容とは、指示したり指示されたりという関係です。恋愛初期ではコントロールしたりされたり、あるいは支持したりされたりという関係です。肉体関係をを持った後はお互いに要求し合います。最後に慣れてくると、二人の共通の目標を持つようにな

ります。

火星と金星のアスペクトが九十度・直角です。直角に離れている関係では、二人は異なるものを持っているので、恋愛初期はお互いの異なるものが刺激となる相性です。肉体関係を持った後も、しばらくの間は、相手の未知の世界からの刺激が強くなります。ところが慣れてくると、もともとお互いが異なるタイプなので、衣食住の価値観の違いが徐々に明確になってきます。すると合わないことが沢山出てきます。

火星と金星のアスペクトが百二十度・百二十度は六十度の二倍なので六十度と似ています。ですから恋愛初期は手伝ったり助けられたりという関係です。肉体関係を持った後は肉体的な喜びを共有できません。最後に慣れてくると、例えば子供ができるとお互いの役割分担が非常に明確になり、お互いに尊敬し合うようになります。

火星と金星のアスペクトが百五十度・恋愛初期は、お願いしたりお願いされたりの関係です。肉体関係を持って最初の頃は、もともとお願いしたりお願いされたりですから、ちよつとリズムが合いません。そしてイライラ感が徐々に増していきます。最後に慣れてくると、どちらかがリードし、どちら

かがリードされ、上下関係に近い関係になります。

火星と金星のアスペクトが百八十度、火星と金星が全く逆、真向かいの星座になる場合です。根本的に正反対で全く異なります。恋愛初期はそこに恋愛の刺激を感じます。肉体関係を持ったころはお互いの欲望をぶつけ合います。最後に慣れてくると、お互いもともと違うので、お互いの独立と自由を認めます。

■男女関係と親子関係に共通する最高の状態とは？

男女の相性判断をするときに、どういう状態が最終的に一番良い相性なのかといえば、最終的には相手をどこまでも信頼する状態が一番だといえます。自分の気に入ることや都合のいいことだけを信頼するわけではありません。相手が夜遅く帰ってくる、酒を飲んで帰ってくる。異性と交際して帰ってくる、もしかしたら風俗に行つて帰ってくる、もしかしたら浮気して帰ってくる。それでも信頼するのです。そして相手を自由しておくのです。これが最高の愛の形です。これが男女関係の最高の形ですが、親と子の関係の最高の形もこれと同じです。

子供を勉強ができないから心配する。スポーツが他の子供より上手にできないと心配する。「どう

してあなたはできないの？」「あの子はできるのにどうしてできないの？」こういう心配は本当の親の愛でしようか？

■口うるさく育てられる子供の問題点

実はこれは愛ではありません。「心配する」とお母さんたちはよく口にしますが、これは本当は子供を信じてない証拠なのです。

口やかましく「あれしろこれしろ」といろいろ言ったり「手洗ったの？爪切ったの？鼻かんだの？」いちいち命令したり指示するお母さんがいますが、これは口うるさく言うことで子供がよくなると思いをしています。よけいなことに口うるさいのは子供を信じてない証拠です。

「信じてない」ということは「愛がない」と同じです。ですから口うるさい育て方をされた子供はよくなりません。自由でないからです。不自由な環境で育つ子供ですから、よくなるわけがありません。子供が勉強できなくても信頼する、勉強ができて信頼する。顔の表情を全く変えず、いつも同じ表情で何があっても信頼している、何があっても自由にさせてあげる、失敗してもかまわない、そういう内容が最高の愛の形といえます。

■「結婚に向かうべきでないとき、それはどういうときか」という相談へのアドバイス

次に「結婚に向かうべきでないとき、それはどういうときか？」を説明します。これも正法と奇法の答えがあります。

まず奇法による答えは既に決まっています。「結婚に向かうべきではないとき」の答えに占いは全く関係ありません。まず相談者がなぜ結婚したいのか、その動機をみます。

相談者の結婚したい動機が「相手によって自分を幸せにしてほしい」というものならば結婚に向かうべきではありません。相手からみればとても迷惑です。自分は幸せでないということです。「幸せではない私と結婚して欲しい」というのは相手にとって、不幸な人間と結婚することですから、これは大変迷惑な話なのです。

「自分が幸せだから相手も幸せにしてあげる」とか「どうすれば相手を今より幸せにできるのだろう」「私と一緒になれば今より間違いなく相手は幸せになる」こんな気持ちがあれば結婚に向かうべきです。

ですから「結婚していいですか？結婚しないほうがいいですか？」と相談されたときには「あなたは相手をどのくらい幸せにすることができますか？」と質問してみるのがいいです。普通の人はほとんどの場合、そう考えたことはありません。まず考えることは「私を幸せにしてほしい」とか「私が幸せに

なるか」ということばかりです。相手が幸せになれるかどうか考えている人はほとんどいません。自分勝手なのです。

■結婚のタイミングの問題、星座を使つての解説法

以上の内容を踏まえて正法を使いながら解説していきます。相談者の星座に星が沢山入っている場合、もしくはこの星座に土星が入っている場合のどちらかです。土星には障害・困難・邪魔するものという意味があります。

【相談】「結婚すべきでないときとは、どんなときでしょうか？」

おひつじ座 目的に向かって夢中になる星座が邪魔されているのですから「あなたは結婚以外の何か違うことに一生懸命になっているので、結婚に向かうべきときではありません」と言えはいいのです。

おうし座 物質欲を意味します。ですから「まだまだ買いたいもの、欲しいものがありますよね？結婚よりもまずそちらを優先させなさい」と言えはいいのです。

ふたご座・自由でありたい意味があります。ですから「まだまだ結婚に縛られず、自由でいたいならそうしなさい」と言えばいいのです。

かに座・仲間と一緒に湧き合い合いと群れて楽しみたい意味です。ですから「仲間との関係を楽しみたいなら、まずそれを優先させなさい。まだ結婚に向かうべきでない」と言えばいいのです。

しし座・新しい環境を求めているときです。「結婚意外にも新しい環境や仕事を求めているのではないですか？もしそうなら、まだ結婚に向かうべきときではありません」と言えばいいのです。

おとめ座・いろいろ分析します。「結婚をあなたなりに分析して計算して算盤を弾くと心配事がいっぱいあるんでしょう？だったら今はやめなさい」と言えばいいのです。

てんびん座・バランスの星です。「友人や会社の同僚で結婚している人を実際に観察して、自分が結婚生活ができるかどうかを確かめたい思いがあるならやめなさい」と言えばいいのです。

さそり座「魂の触れ合いを求めます。「人とは何か？人生とは何か？男と女とは何か？とかまだまだ求めたい気持ちが強いので、結婚はまだ早いです」と言えはいいのです。

いて座「生涯の目的や、自分の趣味が何かまだまだ考えたい思いがあるので、まだ結婚に向かうときではないです」と言えはいいのです。

やぎ座「結婚は社会的な責任が発生するもので、その責任をまだ取りたくない思いがあるならまだ結婚に向かうべきときではない」と言えはいいのです。

みずがめ座「多くの人と交友関係を広げたい気持ちが強く、まだまだ結婚に束縛されたくない思いがあるので、まだ結婚に向かうときではありません」と言えはいいのです。

うお座「今の社会の歪みに非常に不満を感じています。何か社会的なことをやりたいと思っているのなら、まだ結婚に向かうときではありません」と言えはいいのです。

最初に説明したように「結婚したほうがいいですか？悪いですか？」と相談に来た時点で、ほとん

どの場合、相手が自分を幸せにしてくれるかどうかを悩んでいるのです。これは相手にとつては迷惑なことです。ですから相談者には「まだ結婚に向かうべきときではありません。もう少し自分を磨きなさい」と言えればいいのです。

もし相談内容が逆で「私は幸せです。相手をもっと幸せにしたいのです。どうしたらいいでしょうか?」という質問には「今すぐ結婚しなさい」と言えればいいのです。

■「あの人と別れたほうがいいですか?」という相談へのアドバイス

同じように、男女の別れの相談も答えは決まっています。

「あの人と別れたほうがいいですか?」こういう質問があつたとします。相談者の頭の中は分かれるべきか、続けるべきかという二分思考でいっぱいになっています。このように発想が二分思考になっている時点で、相談者の脳は駄目な状態なのです。

誰かに別れ話の相談するということは、その時点で既に答えは決まっています。この相談者は本音では別れたいと思つているのです。ですからこういう相談を持ちかけるのです。だから答えは「別れなさい」です。続けなさいと言う必要はありません。本人の本音が「別れたい」という相談ですから、答えは「別れなさい」でいいのです。

ただ実際の場面では、相談者はグジグジといろいろな言ってきました。なぜなら相談者の心は強い依頼心で固まっているからです。自分で決断して生きていく自立心ができてないのです。ですから依存心を消して、自立心を刺激する回答をしなければいけません。

■男女の別れの悩み四柱推命の流運での解説法

四柱推命の大運や年運を使った解答例を紹介します。

【相談】「あの人と別れたほうがいいですか？」

比劫の流年運 「異性から独立して別れるときです、うまくやりなさい」

食傷の流年運 「おそらく異性から傷つけられていますね。ですからもっとおおらかなタイプの異性のほうがいいですよね？だから別れなさい」

偏財の流年運 「社交性の運がありますから、もっといい異性がいると思っっているのでは？そう思う

なら別れなさい」

正財の流年運 「そろそろ落ち着いて結婚してもいいという意味ですが、今の恋人との結婚生活は考えたくないのでしょうか？そう思うなら別れなさい」

偏官の流年運 「自分を変えていく意味ですから、今の恋人と一緒にいてもあなたは変わりません、本当ならばもっと変化してもいいと思っていませんか？そう思うなら別れなさい」

正官の流年運 「周りの人達から祝福される意味ですから、今の恋人は、例えば親兄弟から祝福されない相手ではないのですか？そう思うなら別れなさい」

印星の流年運 「楽しいという意味ですから、思ったほど今の恋人と一緒にいても楽しくないでしょ？もっと楽しい相手がいると思うなら別れなさい」

このように年運や大運を便法として使えばいいだけです。第三者に別れを相談するということは、本人が必ず「別れたい」と思っているのです。ですから「あなたの思っているとおりですよ」と答え

ればいいのです。

この相談の本当の問題点は、男女問題のうんぬんではなく、自分の人生を第三者に依存していることなのです。依存心が抜けないのが深いところにある本当の問題なのです。

ですから相手がいるとかいないとか、相手と別れるとか別れないというのは、本当はハッキリ言ってもよいことなのです。たとえ相手がどんなパートナーであったとしても、相談者の人生は相談者自身が責任をとらなければいけないのです。「特定の異性に絶対に依存してはいけない」というのが結論です。「何があっても、あなたの命はあなたが守りなさい」という方向に頭を転換させていくことです。

■「結婚は早いほうがいい？遅いほうがいい？」とどう相談へのアドバイス

次は「結婚は早いほうがいいのか？遅いほうがいいのか？」というテーマです。

まず占いと全く関係ない観点から説明してみます。

生まれつき性エネルギーが強い人の場合、（これは本人自身に分かります）これを解決するのに全く異なる二つの手法があります。一つは性エネルギーが強いので、早めに身を固める選択です。このタイプは、どうしても性そのものに関心が向かいやすいので、例えば高校生や大学生のころから婚約

をして、社会人になったらすぐに結婚生活を始めるという方法があります。これによって性エネルギーがおかしな方向へ行くのを防ぐことができます。結婚のパートナーによって性エネルギーが満足する。そういう考え方が一つです。

■壮年期に活躍する秘訣と禁欲

もう一つは、こういうこともあるのかと参考にしてほしいのですが、若い時代に性エネルギーを禁欲することには実は意味があるのです。禁欲とは性を我慢することですが、ある若いときから宗教団体に入っていて、二十歳前半から三十歳半ばくらいまでの間、女性をみてはいけない、女性に触れてはいけないという出家した世界で生きていた人達がいいます。もともと性エネルギーの強い人が若い時期に禁欲をすると、四十歳後半から五十歳過ぎてもパワーが出てくるのです。パワーが残っているのです。禁欲していた人達は同年代の人と比べて明らかに社会的なパワーがあります。

おそらく人間の生まれつき持っている「精」の大きさは決まっています、それを若いときに消耗するの、それとも禁欲して中年までパワーを引つ張っていくのかの違いがあるのです。

ですから結婚の時期に関しても、性エネルギーが強いから早く結婚するのが良いという発想がまず一つ、そして男女のまぐわい以上に、社会的な事業とか何かをやってみたい人には、若いときに禁欲

するのも一つの選択だといえます。禁欲している間、異性に向かうエネルギーを自分のやりたいことに使うのです。すると中高年になってもパワーが衰えません。

また生まれ持った性エネルギーがもともと弱い人は、生きるエネルギーも弱いです。そういう場合、早めに結婚してパートナーからエネルギーをもらうという発想もあります。

ただし、占いの現場に持ち込まれる結婚の時期に関する悩みのほとんどが、ここまで考えなくてもいいレベルの悩みです。自分の損得をメインに結婚を考えてしまうので変な悩みが発生してしまうのです。ですから結婚相談の場合「結婚を損得勘定で考えるな！」と言わなければいけません。

■ 「結婚の時期」の相談、十干での解決法

このことを四柱推命の十干を使って説明してみます。

【相談】「早婚と晩婚どちらがいいのでしょうか？」

甲・頭の中でいろいろ考えて理想を追いますので「理想を追い過ぎるな」と言えばいいのです。

乙・とても慎重で周囲の目を気にし過ぎるので、「周囲の目を気にするな」と言えはいいのです。

丙・もともと性エネルギーは強いので、いつでも結婚できます。「あなたが思ったときに結婚しなさい」
言えはいいのです。

丁・異性にもてますから「仲の良い異性はすぐできるので、結婚しなさい」と言えはいいのです。

戊・束縛されるのが嫌いですから「結婚すると家庭に束縛されると思い込むな」と言えはいいのです。

己・人間関係や感情がグチャグチャなるので、「あの人がいいのかこの人がいいのか」ととても迷います。ですから「迷うな！迷うことが駄目なのです」と言えはいいのです。

庚・基本的に相談に来ません。

辛・結婚して経済力がないとグジグジ不平を言います。ですから「相手に経済力があるなら結婚しなさい」と言えはいいのです。

壬「喧嘩っ早いので、同じ土俵の上で喧嘩にならない相手との相性がいいです。「カチンと反応しても向かってこない相手『何怒ってるの?』くらいに肩透かしをする相手なら結婚しても大丈夫です」と言えばいいです。

癸「相手がとにかく楽しい人なら結婚しても大丈夫です」と言えばいいです。

普通の結婚相談であれば、この程度知っておけば十二分に対応できるはずです。

第六章

「才能」「お金」「仕事」のお悩み解決

■「あなたの才能は何か？」の相談を西洋占星術でアドバイス

次のテーマは「あなたの才能は何か？」です。社会運や才能について解説していきます。どんな人にも才能はあるというのが前提ですが、それを西洋占星術のホロスコープを使って説明します。

ホロスコープ上で、最も活性化している星に注目します。太陽から土星までの七つの星に絞り、最もアスペクトの本数の多い星を支配星・中心星と決定します。(フォーチュンソフト社のパソコンソフトで診断すれば簡単に出てきます)

【相談】「わたしの才能は何でしょうか？」

太陽・自分の気に入った分野であれば、必ず夢中になれる才能があります。その結果として、独創性を発揮するようになります。ですから「とりあえずやってみよう」とか「中途半端にやってみよう」という程度の発想では、本来の太陽とはいえません。もし中途半端にやっているようならば「それはあなたらしくないですよ」とアドバイスすればいいのです。

月・大衆的なビジネスが向いています。庶民的センスが非常に優れているので、庶民を対象にしたビ

ビジネスが向いています。ですから金融業界のような「金、金、金」という仕組みの中で働くのは向いていません。お金を中心にしたビジネスをしても駄目です。

水星 時代を先読みして、その流れに乗る才能があります。社会の変化をいち早くとらえ、先を読んではいかなければいけません。ですから「恋愛、恋愛に夢中になっている暇はないはずですよ」とアドバイスすればいいのです。

金星 情を司る愛情の星です。愛を振りまいて上手に接客できる魅力があります。自分の魅力を表現する才能があるので、魅力を啓発するための自己投資が必要です。そこにお金を使わないのは駄目です。「自己啓発や、自分を磨くためにお金を使いなさい」とアドバイスすればいいのです。

火星 グジグジ考える前に、とにかく実行する才能があります。実行するところが才能ですから「あんなだったらこうしようとか、こうなったらこうしよう」みたいに、理屈をグダグダ言ってるようでは駄目です。

木星 社会的な星です。良い上司や指導者とめぐり会う才能があります。木星らしくない行動とは、

快樂とか楽しむことですが、その度合いが過ぎてしまうとうまくいきません。

土星・困難を司る星で、何でも粘り強く取り組みます。それが才能ですから、あれもこれもと分散させるのは駄目です。何でも粘り強く取り組むことで、成功していきます。

才能について解説しましたが、実際の相談者は、心の中で「こういうものが自分の才能だろう」とか「これならできそう」という思いを必ず持っています。つまり相談者は、常に答えを持っているのです。そして大切なのは、その答えの是非を言うてはいけないということです。

その理由は、人間の脳は経験してきた範囲の中でしか発想できないからです。ですから相談者が「できそう」と思うのなら「やってみなさい」と言うしかありません。相談者がそう思っているのに「向いてないからやめてみたら」と言うアドバイスでは駄目です。

とにかくやってみれば答えが一つ出ます。ですから、さっさとやってみて結果を考える。次にその結果を整理して考える、という循環が大切なのです。とにかく早くやってみる、やる前からあれこれ考えないことが大事です。

■「独立するならいつがベスト？」とどう相談へのアドバイス

次のテーマ「独立するならいつがいいのか？」という質問です。最近リストラされる人が増え、占的などビジネスで独立したいとか、サイドビジネスをしたいという人が増えています。

相談者から、こういう質問が出てくるときは、今の置かれていた環境や仕事に限界を感じ、将来がないと思っているケースがあります。このときに本人の思いが強い場合、答えが決まっています。

答えは、「今です。今年、来年あたりが独立するチャンスです」が答えです。間違っても「四柱推命では比肩・劫財が独立運ですから、その年が来るまで待ちなさい」という答えを言っただけではありません。本人がそう思っているのだから、そのときがチャンスなときなのです。これを四柱推命の年運を使ってどのように説明するかを紹介します。

【相談】「独立するのはいつがいいのでしょうか？」

比肩・劫財・文字どおりの独立運です。そのまま使えば大丈夫です。「あの人にできて、自分にできないわけがない、という思いがありませんか？」という言い方でもいいです。比肩には、もともと肩を比べるという意味があるからです。

食神・傷官「これも独立運です。自分を表現しようとするので、出る杭は打たれる体験をしています。ですから「今の会社で何か自分でやってみて、出る杭は打たれるみたいな経験をしてませんか？」と言えはいいのです。

実際、私（天野氏）がサラリーマンを辞めて独立したのも食傷の年です。どういう辞め方かといえば、簡単に言ってしまうと「自分のやりたいことをやりたい」と上司に言ったら「だったら、お前が辞める」と言われたので辞めて独立しようと思いました。食傷には食傷の独立の仕方があるのです。

偏財・正財「財運のときは、何もかも自分でやってみたいという独立運です。私（天野氏）は学校を卒業して最初に入った会社を二十四歳のときに辞めています。そのときの内容が財星です。いろいろ細かいことまで上司に指示されてやるのが非常に嫌でした。ですから「全部自分でやらせる」という思いで会社を辞めて独立しようと思いました。ですから財運のときに独立してもいいのです。

偏官・正官「官星は誰かに従うということ。今の会社でなくても、あなたをもっと必要としている人が、どこかにいるのではないですか？そう思うなら独立してもいいですよ」と言えはいいのです。

偏印・印綬・アイデア、学問ですから「何か温めているアイデアとか企画があるのでは？もしあるなら実行のチャンスですよ」と言えばいいのです。

このように独立運は比肩・劫財のときだけでなく、どんな星の巡りでも独立運ととらえることができます。ですから独立の相談をする場合「相談を受けたときが独立運のとき」と最初から決めておいて下さい。

■「あっちがいいのか？こっちがいいのか？人生の分岐点」の相談へのアドバイス

次のテーマは「あっちの道を行ったほうがいいのか？こっちの道を行ったほうがいいのか？どの道を行ったらいいのですか？」です。人生の分岐点の悩みです。

これも答えは既に決まっています。

答えは「……」。「今までの人生で、困っている人を助ける生き方を積み重ねていけば、自動的にいい道に行きます。反対に困った人を無視して、見てみぬふりをする生き方を積み重ねてきた人は

困難な道に行きます」と言えはいいです。

このことを十干を使って説明していきます。(奇法を使う場合、頭を非常に柔軟にしておく必要がある)、あるときは十干を使ったり、通変星を使ったり、星を使ったり、星座を使ったり、いろんなことをやっていきます。これは頭を柔軟にしてほしいという訓練の意味があつてわざとこうしています)

【相談】「人生の選択で迷っていますどっちにしたらいいでしょうか？」

甲・考える星です。思考などの意味があります。ですから「どうすれば自分は社会に貢献できるか考えてきましたか？考えてきたならば、よい方向に進んでいくでしょう」と言えはいいのです。

乙・周囲に気を使います。ですから「誰かの心の支えになつてきましたか？困っている人に優しい声をかけてきましたか？もしそうなら良い方向に進んでいくでしょう」と言えはいいのです。

丙・元気があります。ですから「周囲に元気を与えてきましたか？今までそうしてきたのなら、自然に良い方へ進むでしょう」と言えはいいのです。

丁・非常に穏やかな星です。ですから「一人一人との出会いを大切に、人を大事にしてきましたか？大事にしてきたのなら良い方向に行きます」と言え方がいいのです。

戊・信頼の星です。ですから「人を裏切ることには無かったですよね？人から信頼されてきましたか？今までそれをやってきたのなら良い方向にいきます」と言え方がいいのです。

己・人との和とか協調性の意味があります。和やかにグループを形成していきます。ですから「今まで人と人とのつながりを大事にやってきましたか？やってきた場合はいい方向に行きます」と言え方がいいのです。

庚・行動力を持っています。ですから「損得ばかりを考えるのではなく、やりたいことを実行してきましたか？今まで実行してきたのなら良い方向に行きます」と言え方がいいのです。

辛・宗教的な星です。ですから「今まで深く掘り下げて考えてきましたか？深く考えて掘り下げできたのなら良い方向に行きます」と言え方がいいのです。

壬、時の流れを読みます。ですから「今まで時の流れを読もうとして一生懸命勉強してきましたか？勉強してきたのなら良い方向にいけます」と言えればいいのです。

癸、周囲に自分を合わせる事ができます。ですから「今まで豊かな気持ちで人と接してきましたか？人と会うのが嬉しい楽しいという気持ちで生きてきましたか？そういう気持ちで生きてきたなら良い方向にいけます」と言えればいいのです。

■「あなたが生まれてきた理由」という相談へのアドバイス

次のテーマは「あなたが生まれてきた理由は何？」です。

最近、親から見捨てられたとか、親が離婚したとか、親から愛されなかったという人が増えています。こういう場合、本人が必ず心の中で思っていることがありますから、その内容を言ってあげれば良いのです。十干を使って解説していきます。

【相談】「私が生まれてきた理由とは何でしょうか？」

甲、「あなたは社会に貢献するという意識を持っています。ですから『リーダーになって当然です』それがあなたの生まれてきた理由です」

乙、「あなたはとてもやさしいです。ですから『困っている人の心の支えとなつてあげなさい。どんな人と調和していきなさい』それがあなたの生まれてきた理由です」

丙、「あなたは華やかな舞台上で活躍したい人です。ですから『周りに元気をあげなさい。情熱的な生き方をするのです』それがあなたが生まれてきた理由です」

丁、「あなたは一緒にいるだけでなんとなく心地いい雰囲気を持っています。ですから『全ての人に居心地の良さを提供するのです』それがあなたが生まれてきた使命です」

戊、「あなたはとても信頼を大切にします。この場合の信頼とは『迎合する』意味ではありません。戊の人は流行とか周囲の流れを無視した、自分流のものの見方を持っています。ですから『自分流のものの見方を押し通していくのです』それがあなたの生まれてきた理由です。そうすることによって

信頼関係を築き上げることができます」

己、「あなたはとても人情があります。ですから『損得抜きで人を好きになつていきなさい』それがあなたの生まれてきた理由です」

庚、「あなたはとても行動力があります。ですから『たとえ損をしてもやりたいことをやりなさい』それがあなたの生まれてきた理由です」

辛、「あなたはマニアックになる素質があります。ですから『特定のある分野を深く掘り下げて研究しなさい』それがあなたの生まれてきた理由です」

壬、「あなたは時代の流れを先読みします。ですから『新しい波は何なのか考え、つかんでいく使命があります。そして我一番に波に乗ることです』それがあなたの生まれてきた理由です」

癸、「あなたはとても豊かな気持ちの持ち主です。ですから『周囲を楽しく、和やかにしていきます』それがあなたの生まれてきた理由です」

四柱推命で十干をみるときに、ほとんどの場合、日干を重視してそこに目をつけますが、実際は、あまりこだわらなくてもいいのです。例えば、癸の人が相談に来て「この人には、癸らしい豊かな気持がみられないな？」と思っても、それにこだわる必要はありません。月干、年干、時干、月支をみればいいのです。五カ所もみれば大抵は当たります。

実際の人生で、どの十干が発動するかは、人によって皆違います。例えば、私（天野氏）の場合、壬が発動した時期もありました。丙が発動した時期もあり、己が発動した時期もあり、辛が発動した時期もあり、癸が発動した時期もありました。全部が発動するのです。ですから日干だけに注目して、鑑定の幅を狭くしてしまうのは、あまりよい方法とは言えません。

■「仕事で生きがいを感じるには？」という相談へのアドバイス

次のテーマは「仕事で生きがいを感じるにはどうしたらいいか？」です。

最近では会社にいること自体とても苦しく感じる、ギスギスした会社が多くなってきました。そのため仕事で生きがいを感じる事が難しくなったとも言われています。

では、そういう中であつても、仕事で生きがいを感じるにはどうすればいいでしょうか？実は、こ

れも既に答えは決まっています。

■今の仕事に向いているかどうかを判定する秘訣

答えは・・・。「今の仕事を全力でやってみる」これしかありません。中途半端にやっているうちはわかりません。今の仕事が嫌いであっても、やってみることです。今の会社の仕事が一人前以上できるようになった後に始めて、自分に向いているのか、そうでないかがわかります。本当に向いてない仕事だった場合、体中ではつきり向いてないことが実感できるからです。

そうなれば悩むことは一切ありません。「新しい仕事をみつけないといけない」という境地にたどり着くからです。体全部が「今の仕事以外であれば何でもいい」と思える状態になります。ですから人に相談することも絶対ありません。

占い師のところに相談に来る段階の人は、まだまだ今の仕事に全力で取り組んでないという証拠でもあります。ですから、こういう悩み持って来た人に対しては「今の仕事を、まだ全力でやり切っていない人がやって来ている」と最初に押えなければいけません。

今の仕事は向いてないと実感することができれば、新しい仕事は自然にみつかります。なぜなら、その人は腹をくくっているからです。

■「生きがいを感じる仕事」について天野氏の場合

私（天野氏）も学校を卒業してすぐは漁師のような仕事をやっていました。南洋の島で、毎日太陽が出ると海に出て、太陽が沈むと帰ってくる生活をしていましたが、その仕事を一生懸命やってみた結果、自分に向いてないとわかりました。

三年間とことんやって、管理職の立場にもなりましたが、明らかに向いてないのです。「向いてない」という強い自信だけがありました。そして、何でもいいから新しいチャンスを探すようになりました。丁度、当時の社長が「地元のパートさんの給料計算をパソコンを導入してやりたい」と言い始めたので、「私がそれやります」と言いました。

そして本で勉強をしながらパソコンのソフトつくりました。まだハードディスクもないフロッピーディスクの時代の話です。このときは給与計算のソフトを作りましたが、これがコンピュータ業界で食べていくきっかけとなりました。たとえ漁師をやってもコンピュータ業界で飯を食べていけるようになれるという実例です。

「この仕事は絶対自分には向いてない、何でもいいから新しいことだったらやってみる」と腹をくくっていると、チャンスは向こうからやって来ます。これを通変星を使って解説します。

【相談】「仕事のチャンスはどこからやって来ますか？」

比肩・劫財、「あなたは今の仕事で当然、広い人脈ができています。そこからチャンスがやってきます」

食神・傷官、「あなたは誰にも負けない技術やノウハウは貯まったはずですよ。そこからチャンスがやってきます」

偏財・正財、「あなたは上司や部下がいなくても一人で全部やれる力をついたはずですよ。そこからチャンスがやってきます」

偏官・正官、「あなたは周囲を巻き込んで、組織全体を変えていくことを一生懸命やったはずですよ。そこからチャンスがやってきます」

偏印・印綬、「あなたは会社でどんどん新しいことを吸収して、ずいぶん勉強したはずですよ。そこからチャンスがやってきます」

こんなふうには言えませんが。本当にやり切ったとか、これ以上はやれないくらい仕事をやってきた人ならば、生活していくくらいのレベルはできているはずですよ。

次のテーマは「仕事で生きがいを感じるには？」です。

【相談】「仕事で生きがいを感じるにはどうすればいいのでしょうか？」

偏印・印綬 「あなたは新しいものを吸収することに面白さを感じます。損得抜きに、面白いと思っただけをどんどんやってみるのです」

偏官・正官 「あなたは上司から命令されたり、目下に指示したりという人間関係の関係で、チームで仕事をやっていきます。そこに生きがいを感じます」

偏財・正財 「お客様の気持ちは『ああじゃないか、こうじゃないか』と一生懸命に心を読んでいます。例えば会社として、ある方向性があったとしても、お客様の気持ちとの間にずれを感じれば、自分

の意見を押し通して会社を変えていくぐらいのことができるはずですよ。そこに生きがいを感じます」

■天野氏が実体験から財星の特徴を解説

私（天野氏）の月柱天干が財ですが、ユーザーの心がわかるようになる、本当の意味での合理性がでてきます。私は先ほど少し紹介したように以前、南洋で真珠をつくる仕事をしていました。浜上げした真珠を東京の加工会社に出荷するのですが、まずはじめに南洋の島で、漁師が真珠を加工してから東京へ出荷します。そのときに、真珠の加工に関してド素人の人間が、まず真珠をきれいに見せるために加工してから出荷するのですが、そのとき私は「東京の宝石会社は真珠を加工する専門家なのに、なぜ素人が手を加えて出荷する必要があるのか？」とふと疑問に思うようになりました。

具体的には、水揚げした真珠のちよつとした傷をとるためにペーパーで磨いたり、薬品使つてごまかすのですが、それは少しでも高く、東京の業者に売りたいという思惑があるからです。しかしユーザーの気持ちになればこれは無駄なことです。東京の加工会社のプロの目からみても余分なことやっているのです。そんなことをせずに、東京の加工会社には、そのまま水揚げされたものを正直にみせて、お互いの信頼関係の中で値段を決めればいいわけです。

このことを、まだ新入社員でしたが「無駄なことやっていますよ、合理的でないですよ」と当時の事

業部長に進言しました。すると「自分達がつくった真珠を加工して、きれいにするのがなぜ合理的でないのか！」とひどい勢いで怒られてしまいました。

■財星の「合理性」とは？

この事業部長のように、人情的な気持ちでやっても仕事はうまくいきません。ユーザーの気持ちに立てば加工しない真珠を持ってきてほしいのです。プロからするとその方が加工しやすいのです。素人が傷をとったり、変な薬品が塗られたものを持ってきて欲しくないので。なぜかというところ、その薬品を全部とつてから作業したりと、二度手間になるからです。

財星を持つている人間は、このようにユーザーの立場に立った合理性を発揮することができます。財星の感じる合理性とはこのような意味です。

食神・傷官、自分のノウハウや技術をドンドン人前でアピールしなければいけません。ですから論文を書いてもいいですし、会社の技術発表会で積極的に発表してもいいです。自分の技術やノウハウをアピールするのが生きがいです。

比肩・劫財・比較的、短い期間で成功できるものを繰り返しやっていったほうがいいです。できれば二年以上の期間で成功できるものが向いています。そこに生きがいを感じることができません。

■「仕事とお金」についてホロスコープでの解説法

続いて、ホロスコープのハウスを使って「仕事とお金」というテーマをみていきます。

今回は第二ハウス、第十八ハウス、第十一ハウスの三種類のハウスを使います。普通どうしても一個のハウスに絞って鑑定しがちですが、そのやり方では脳の発想が固定されてよくありません。脳の発想が固定されてしまうと、それが一つの方程式になってしまい、以降、応用が全くきかなくなってしまうのです。ですから、それを避けるためにわざと複数のハウスをみながら解説していきます。（これを暗記するのではなく、皆さんが自分の脳の構造を、学びながら変えていくつもりで読んで下さい）

【相談】「私の仕事とお金はどうなりますか？」

第二ハウスに太陽・物質的な運です。太陽が第二ハウスにあれば、年齢とともに収入はあがるでしょう。地位も安定するでしょう。

第二ハウスに月・月は太陽の影響を受けて、明るくなったり暗くなったり変化をします。ですから収入は上がったり下がったり変化します。月の場合、収入の多い少ないは何に依存するかというと、周囲の人間関係の良し悪しです。それによって収入も上下していきます。

第二ハウスに水星・水星はコミュニケーション能力です。また情報という意味もありますので、二つ以上の仕事を掛け持ちして収入があがっていくでしょう。

第二ハウスに金星・金星は魅力です。あなたに魅力があるので、周りの人は支えたい気持ちになります。支えてくれる人が多ければ多いほど当然収入も増えていきます。

第二ハウスに火星・火星は稼ぐことも闘争的です。お金を使うのも闘争的です。「稼ぎ方が闘争的なので、組織から独立してから稼ぐ」そんなふうに言ってもいいです。

第二ハウスに木星・木星は安定です。ですから安定した収入があるでしょう。もしくは安定した取引先に恵まれるでしょう。

第二ハウスに土星　土星は忍耐です。忍耐をして、やっとお金をもらえます。やっと収入を得るので必然的に浪費はできません。儉約するようになります。

各星によって、このような金銭面の特徴があります。

続いて「あなたの仕事とお金」ということで第十八ハウスをみてみます。第十八ハウスは社会との関わり合いです。

【相談】「私の仕事とお金はどつなりますか？」

第十八ハウスに太陽　太陽は個人より会社、会社よりも社会全体を優先します。その結果として地位や名誉を得ることができます。

第十八ハウスに月　月は変化します。成功したり失敗したりを繰り返しながら、だんだん成功していくでしょう。

第十八ハウスに水星・水星は情報戦略です。情報をうまくコントロールしながら、社会と関わり成功していくでしょう。

第十八ハウスに金星・金星は魅力です。社会に対してあなたの魅力を演出しないとイケません。

第十八ハウスに火星・火星は闘争心です。闘争心は実力がないと出ませんから、あなたは実力で勝負できます。

第十八ハウスに木星・木星には打算的などころがありません。宗教的な感覚が強く、世のため人のためという思いが強いです。ですから、マネージメント力によって社会に貢献します。自分一人でガツガツやる火星のようなタイプではなく、チーム全体の力を引き出すタイプです。

第十八ハウスに土星・土星は忍耐力です。下積みの生活が長いですが、一步一步上がって成功していくでしょう。

続いて「仕事とお金」という同じテーマで第十一ハウスをみてみます。第十一ハウスは未来へのビジョンです。

【相談】「私の仕事とお金どうなりますか？」

第十一ハウスに太陽・未来へのビジョンの位置に太陽です。太陽は地位と名誉ですから、まず最初に地位や名誉を得て、後で最終的にお金も獲得するでしょう。

第十一ハウスに月・月はお金よりも人間関係を重視します。人間関係を重視して楽しくやることで、将来へのビジョンが開けるでしょう。あるいは月を女性としてみると、女性に関係したビジネスでも成功するでしょう。

第十一ハウスに水星・水星は時代の波に乗ることで、それにより将来成功するでしょう。（この解釈には注意が必要です。この「時代の波に乗る」の意味は、誰かがつくってくれた波に乗るという解釈では今一步です。本当は時代の波に乗るのではなく、自分が時代の波をつくったり、変化の波を起すという気持ちがないと、なかなか波には乗れません。誰かがつくり、皆が乗った最後に私も乗

ろうという段階では、その波はもう終わりなのです)

■「時代の波をつくる」フォーチュンソフト社の場合

例えばフォーチュンソフト社でホームページをつくって商品の販売を始めたのが、今から十六年以上前です。まだ新聞にインターネットとかITという言葉がでてこない時代です。検索エンジンも当時、一社しかありませんでしたが、その当時から検索エンジンの対応もしていました。今で言うSEO対策ですが、こういう言葉がないうちからやっていました。

ですから今になって、いろんな会社から「SEO対策を任せてくれませんか？」とよく提案を受けますが「あなたの会社が創業する前からSEO対策やっていますよ」と言っています。ホームページ、インターネット、SEO、こういう言葉が新聞にのってきたから、その波に乗るのでなく、既にその前から波には乗っていて、メディアが大きく取り上げるようになって「そろそろやめようかな？いやめようかな？」と思うぐらいでなければ駄目なのです。

新聞やテレビが賑わってきたら、一番大きな波はそろそろ終わりと思わなければ駄目です。ですから皆さんには、波に乗るのでなく、波をつくる側になって欲しいと思います。

第十一ハウスに金星・金星は目上から引き立てられます。魅力があるので、力のある人から引き立てを受けて成功するでしょう。

第十一ハウスに火星・火星は闘争します。リスク覚悟でやってみると成功するでしょう。

第十一ハウスに木星・木星は、独力で将来のビジョンを描いてはいけません。チーム全体の力を使う形で成功するでしょう。

第十一ハウスに土星・土星は忍耐の星です。将来は、コツコツ努力していくことで成功するでしょう。

■「**お金にも気持ちがある**」とは？

もう少し頭をやわらかくするために話しを変えます。

「**お金にも気持ちがある**」という話です。実は、万物全てが「**気持ち**」を持っています。ですからお金の気持ちになつて考えてみましょう。そうすると、お金はどんなところに集まってくるかわかりますか？「**お金**」を「**人間**」という言葉に置き換えてもいいです。どういう人間のところに集まっ

くるのか？

実は「この人に自分を使って欲しい」という魅力を持った人のところに、お金は集まってくるのです。人も同じです。魅力のある人のところに人は集まってきます。ですから「どうすればお金は儲かりますか？」とよく質問されますが、小手先のテクニクをなんとかすれば儲かるというものではありません。「あなたの魅力は何ですか？」が結論です。魅力があればお金は集まってくるのです。

では「魅力」とは何でしょうか？「自分だけが儲かりたい」そういう人には魅力はありません。その証拠に、魅力がない人のところに一旦人が集まったとしても、サーッと散ってしまいます。短期間でお金を一気に集めて、あっという間にお金が散るのはこのパターンです。

ところが、業界全体のため、社会全体のため、子供全体のため、老人全体のため、日本のため、とより大きな欲を持っている人には魅力があります。ですからそういうところには、お金が集まってくるのです。こういう大きな欲望や公的な欲を持っている人はだいたい不満が少ない人間です。そして明るいです。

■お金が集まってくる秘訣とは？

こういう人達の不満とは、業界全体をなんとかしよう、日本全体をなんとかしようというレベルの

不満です。誰かを恨むとか、そんな程度の低い不満ではありません。反対に、欲望の小さい人間に限って「あいつが悪い、こいつが悪い」と、特定の人を恨むような不満が多いものです。

ですから成功しようとか、お金を儲けたいと思うなら、自分のことだけを考えていては駄目です。「より大きなことのために」という思いが一番大事なのです。そういう人がかっこいいのです。かっこいいから「この人を使って欲しい」とお金が集まってくるのです。

先ほども少し触れましたが、新しい波に乗るのではなく、波をつくる人間にならないといけません。最近の占い業界も同様です、そろそろ新しい波をつくる必要があると感じている人が多いのです。

生年月日から占いの盤を出して説明していく、この一連の流れそのものが「占い」だというのが、従来からの占い業界の常識です。これは古典的な占いです。しかしこれでは、お客さんは何もよくありません。お客さんの波動がプラスになって帰っていくこともほとんどありません。

■ 十年間売上ナンバーワンのコンテンツタイトルとは？

インターネットや携帯電話のコンテンツという占いの分野がありますが、実は、この占いコンテンツには従来のような盤の説明は一切ありません。いろいろテーマを設けて、相談者はそこから入ってきます。しかし、このテーマの中には、本当に人をバカにしたようなものもあります。悩みのレ

ベルがものすごく低いのです。

具体的には、占いコンテンツの圧倒的売り上げナンバーワンで、十年間ナンバー1のタイトルがありますが、これが何かわかりますか？

実は……。「あの人はあなたをどう思っているのか？」というタイトルなのです。これが十年間ずっとナンバーワンです。ですから、どの占いコンテンツをみても同じようなタイトルのメニユーが沢山入っています。売れるから沢山入っているのですが、よくよく考えると、このタイトルは、とても人をバカにしています。

なぜなら、自分がどう思われているのか気になるのなら、直接本人に聞けばいいからです。「あなたはこのこと好き嫌い？好きならどうして？嫌いならどうして？」と聞けば済むことです。なぜ占いを使う必要があるのでしょうか？

このタイトルは、そういうことをはっきり口に出せない精神病患者のような、心に傷を持っている人を相手にしているビジネスなのです。

■これからの占い業界のスタンスについて解説

占いコンテンツが出始めたのが、今からだいたい十四から十五年前です。当時、お客さんの中心は

二十代の人達でした。それから十五年後の今、占いコンテンツのお客さんの年齢層はどうなつたと思いますか？十五年前と同じで、今も二十代のお客さんが多いのでしょうか？実は違います。

このことは業界に十五年以上、関わってきた人はわかつているのですが、実は客層がそのまま平行移動しているのです。占いコンテンツのユーザーが一番多いのは三十代後半の人達なのです。若い人はそんなに入ってきていません。ですから業界全体のマーケットは大きくなつてないのです。

十五年前のお客さんがそのまま横に移動しているだけなのです。横に移動しているので、三十代の悩みとなると、どうしても普通の純愛の悩みは少なくなり、例えば、奥さんのいる男性、夫がいる女性を好きになつてしまったという不倫関係のような悩みが多くなるのです。

ですから業界全体で新しい波を起こすことが必要です。この講座を学んでいる方々にもその一員となつてほしいと思います。相談を持つてくるお客さんは、本当の問題点がわかつていません。ですから相談者が本当の問題を発見できるように、助けてあげられるレベルになつていただきたいのです。

「相談者の問題を解決してあげよう」というスタンスではありません。「悩む」というのは「問題点がわかつてない」ということです。問題点を一緒になつて発見してあげるスタイルに切り替えて欲しいと思います。問題点さえわかれば、答えは本人が自動的に出していくものです。

■「あなたに必要なビジネスパートナーとは？」の相談へのアドバイス

それでは、次のテーマ「あなたに必要なビジネスパートナーとは？」です。どんなビジネスパートナーが必要なのかについて説明しますが、今回は西洋占星術の星座を使います。星が一番入っている星座（三つ以上入っている場合）を支配星座とします。星がそんなに集中していなければ、太陽の入っている星座を支配星座として注目します。長所イコール短所という発想をします。長所も短所も溶かして発想します。

【相談】「私に必要なビジネスパートナーとはどんな人でしょうか？」

おひつじ座が支配星座・行動の星座です。行動が行き過ぎてしまうところがあるので、それを抑えてくれる、安全確認しながら慎重にする人が、あなたに必要なパートナーです。

おうし座が支配星座・安定したい人ですが、安定志向過ぎる傾向があります。ですから創造的で革新的な人が、あなたに必要なパートナーです。

ふたご座が支配星座・新しもの好きで、同じことを繰り返すのが大嫌いです。ですから逆に、同じことでも飽きずに淡々と繰り返せる人が、あなたに必要なパートナーです。

かに座が支配星座・情にもろいです。情で失敗することがあります。ですから情に冷たい合理的な人が、あなたに必要なパートナーです。

しし座が支配星座・強い意志とプライドがあります。ですから強い意志とプライドでなく、いつもくつろいでいる人、ゆったり、のんびりしている人が、あなたに必要なパートナーです。

おとめ座が支配星座・現実を冷静に分析します。分析するのはいいのですが、夢がありません。ですから夢をみる人、ロマンチックな人が、あなたに必要なパートナーです。

てんびん座が支配星座・人間関係のバランスを重視します。そのために頭を使います。ですからバランスを破壊する人が必要です。やる時にはハチャメチャ、グチャグチャにやる人が、あなたに必要なパートナーです。

いて座が支配星座、冒険を楽しみ過ぎます。ですから危険なリスクは犯さない、安定した人が、あなたに必要なパートナーです。

やぎ座が支配星座、信念が強い頑固者です。ですから自由な発想で、ものごとにとらわれない人が、あなたに必要なパートナーです。

みずがめ座が支配星座、直感がありますが、それだけで行動して失敗するところがあります。ですから、物事を理論的に考え、現実的に処理できる人が、あなたに必要なパートナーです。

うお座が支配星座、人類愛はいいのですが、デリケートすぎます。ですから、ものごとを事務的に判断できる人が、あなたに必要なパートナーです。

このような、長所イコール短所の発想を修得して欲しいと思います。

第七章

「パートナー」「来年はどうなる？」のお悩み解決

■「あなたに必要なパートナーは？」という相談へのアドバイス

次のテーマは「あなたに必要なパートナーはどんなタイプ？」です。パートナーとの相性を考えるときの発想は仕事も恋愛も根本的には同じです。

まずパートナーと溶け合うことが第一です。心が溶け合うことです。異性の場合では肉体も溶け合います。そして溶け合った結果、考え方が大きくなり安定します。

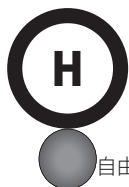
これは自然現象も同じです。異なるもの同志がパートナーとして溶け合うと、考え方や行動が大きくなり安定します。これは非常に重要な発想なので、事例を挙げて説明します。

■水素原子にみる「溶ける」と活動範囲のひろがり

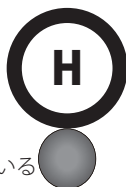
水素は、一個の水素原子の周りを一個の電子がグルグル回っているだけで、これに、もう一つ別の水素がくつつくと、電子の行半径が大きくなります。水素原子二つと電子が溶け合った結果、行動範囲が大きくなりました。

さらに炭素がくつつくと、 CH_4 （メタンガス）になります。こうなると電子は、さらに大きくなり、より自由自在に動き回ることができます。これを人間に置き換えると、自分の周りをグルグルまわっているだけでなく、より大きく運動できるので、発想や考え方も大きくなっている状態です。そして

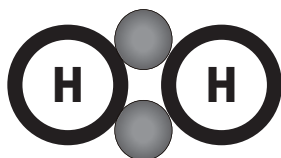
水素原子



水素原子

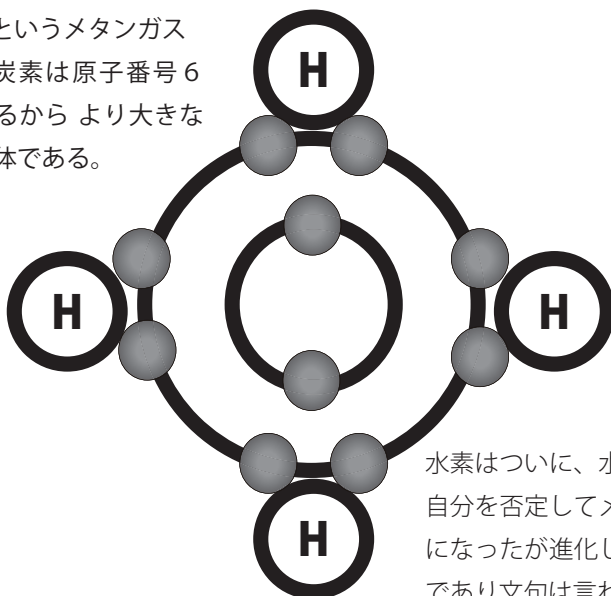


自由電子は常に相手を求めている



H₂ という水素気体

CH₄ というメタンガス
Cの炭素は原子番号6
であるから より大きな
生命体である。



水素はついに、水素という
自分を否定してメタンガス
になったが進化して、幸せ
であり文句は言わない

量子力学による進化の法則

より安定しています。

そこへ、さらに酸素がくつつくと $\text{CH}_3\text{—OH}$ （メタノール）になります。気体から液体になり、より安定します。

そうなると電子はグルグルと、より一層大きく運動できるようになります。活発に運動できる程、発想も大きくなり安定の度合いが大きくなります。このように異なるものが一緒になって溶け合うと、どんどん大きくなり安定するようになるのです。このことを踏まえた上で、四柱推命の十二運星を使い、あなたのパートナーを探してみます。

【相談】「私に必要なパートナーとはどんな人？」

胎「あなたは誰もやったことのないことをやりたがる独自性を持っています。ですから『そんなに独自性はなくてもいいから、ゆったりおっとりやろうよ』という人が、あなたに必要なパートナーです」

養「あなたは感情表現がとても豊かです。ですから礼儀を大切に、折り目正しい人が、あなたに必要なパートナーです」

長生「あなたは表裏が無い素直な人です。ですから、用心深く駆け引きができる人が、あなたに必要なパートナーです」

沐浴「あなたは新しいものに興味が有り、ドンドン好奇心が湧いてきます。ですから、同じことを淡々と真面目に繰り返すことができる人が、あなたに必要なパートナーです」

冠帯「あなたはカッコばかりつけて、面子にこだわり過ぎるところがあります。ですから『面子なんか大したことないよ。情緒を大事にしましょう』という人が、あなたに必要なパートナーです」

建禄「あなたは完璧でありたいという欲求が強いです。ですから、いい意味でこだわりのない人が、あなたに必要なパートナーです」

帝旺「あなたは何かに夢中に取り組みますが、だいたい大雑把です。少し鈍く、ボーっとしている感じがあります。ですから、心配性な人があなたに必要なパートナーです」

衰「あなたは過去をいろいろと振り返り、経験から判断をしていきます。ですから前しか見えない人、

過去を一切振り返らず前進する人が、あなたに必要なパートナーです」

病 「あなたは非常に神経質です。ですから、少し鈍いくらいの人が、あなたに必要なパートナーです」

死 「あなたはコツコツと同じことを続けることができます。ですから、次々と新しいことを始める、めまぐるしく動き回る人が、あなたに必要なパートナーです」

墓 「あなたはポーカーフェイスで、感情を内側に隠します。ですから、喜怒哀楽の激しい人が、あなたに必要なパートナーです」

絶 「あなたはしがらみや常識を全く気にしません。ですから、常識的で自分をコントロールできる人が、あなたに必要なパートナーです」

このように、自分と反対の性質を持っている人と、溶け合うことができれば、全体として大きな二人分の世界を味わうことができます。自分一人だけでは味わえなかった世界でも、パートナーがいることによって、世の中をより大きく味わうことができるのです。これがパートナーの仕組みであ

り、仕事と恋の場面に共通して応用できる発想です。

次のテーマは「結婚と相性」です。引き続き相性についての解説です。

結婚と相性について何度も繰り返しながら、言い回しを変えて説明していますが、これには理由があります。

■インターネットで最も検索されるキーワードとは？

インターネットの検索エンジンで一ヶ月の間に、どのくらいの人数が、どういうキーワードで何を検索しているかというグーグルのデータがあります。このデータから得られる数値をみると、世の中の人が何に関心を持っているのか一目瞭然となります。この事例を紹介していきます。

「恋愛」というキーワードで検索した人は、一ヶ月何人いるでしょうか？

百八十万人了。

「性格」というキーワードで検索した人は、何人でしょうか？

八十万人了。

「恋人」というキーワードで検索した人は、何人でしょうか？
百万人です。

「彼女」というキーワードで検索した人は何人でしょうか？
百八十万人了。

「告白」というキーワードで検索した人は何人でしょうか？

六十八万人です。

「相性」というキーワードで検索した人は何人でしょうか？

五十五万人です。ここで「四柱推命相性」というキーワードも結構人気がありますが、こういう「相性」を含めると約七十万くらいまで数字が上がります。

さて、では「結婚」というキーワードで検索した人は何人いるでしょうか？

実は……八百万人です。毎月八百万人の人が「結婚」というキーワードを入力しているのです。断トツに多いです。その次が「恋愛」の百八十万人了。



■世の中の人々は「仕事」よりも「恋愛」「結婚」に意識が向いている

ですから世の中の人々は仕事で頭を悩ませるといっても、結婚や恋愛の悩みを解決するほうが、より大きな関心事なのです。ですから、ここに焦点を当てビジネスをしななければいけません。世の中

の多くの人が欲しがっているものが、結婚と恋愛の情報だからです。ですから結婚や恋愛にターゲットを合わせなければビジネスは儲かりません。ただし、恋愛や結婚も根本的には人間関係ですから、占いカウンセラーは「人間関係をどうしたらいいの？」という観点からアドバイスしてあげばいいのです。

人間関係というものは、仕事でも男女間でも同じです。恋愛関係で悩む人は、仕事の人間関係でも悩んでいます。逆に仕事の人間関係で悩んでいる人は、恋愛関係でも悩んでいます。仕事の人間関係は物凄くうまいけど、男女の人間関係はうまくいかない、という人は実際はあまりいません。

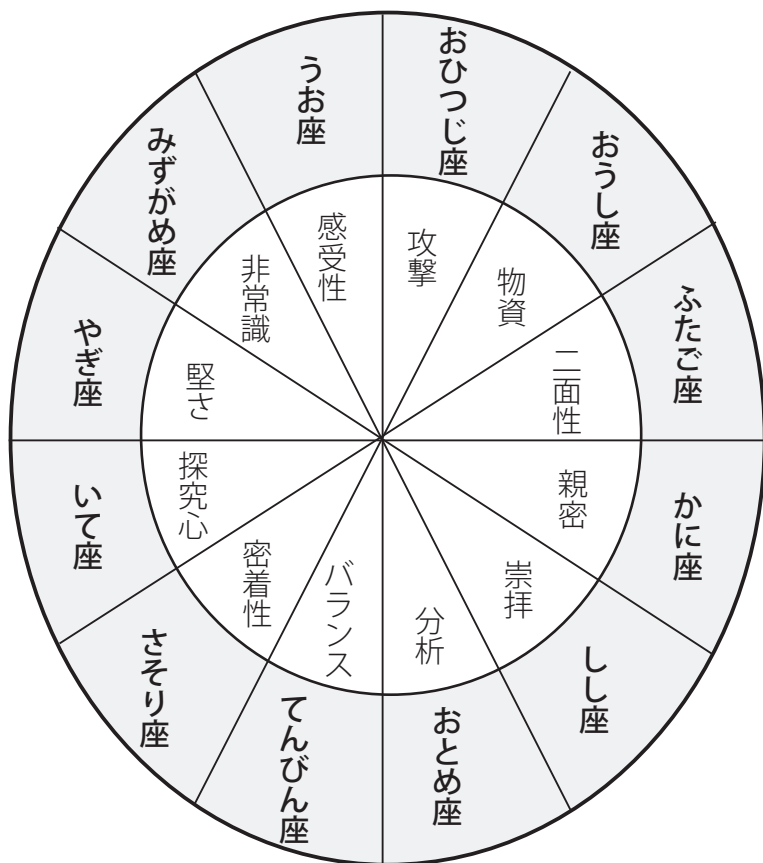
■相性問題、西洋占星術での解説

今まで説明してきた、相性の原理を図解（次頁図）していきます。西洋占星術では、蟹座かにの反対にあるのが山羊座やまぎです。双子座ふたごの反対が射手座。牡牛座お牛しの反対が蠍座さそり。牡羊座うおの反対が天秤座てんびん。魚座うおの反対が乙女座おとめ。水瓶座みずがめの反対が獅子座ししです。各星座の正反対の位置にあるものは正反対の性格です。そして結婚について考えた場合、周りの人から薦められた相手と結婚するというケースは、実際のところ少数です。自分で勝手に決めてしまう場合がほとんどです。

よく考えると不思議ですが、「なぜこの相手と結婚するのか」という理由もなく結婚相手決めてしまう場合がほとんどなのです。

■理由もなく結婚相手を選ぶという現実

フォーチュンソフト社では、日本人とフィリピン人との国際結婚の斡旋もやっていますが、結婚を希望する日本の男性に「この女性は非常に家柄もいいし、気立てもいい、よく働く、女房としては絶対に安全パイで、間違いのない人だからお勧めしますよ」と紹介しても、ほとんどの場合が結婚しません。なんとなく、ピンとこないので決断できないのでしょうか。そして結局、家柄も悪く、貧乏で、結婚後に仕送りをしないといけないような人と結婚してしまいます。そんな現実を何組も目の当たり



十二星座は相対する星座の特徴も、実は持っている

にしてくると、結婚というものは合理的な面だけを考えてできるものではないことがわかります。

■正反対に位置する星座がポイントとなる

正反対に位置する星座の性格は、簡単には理解できません。例えば、私(天野氏)は射手座の同じ度数に火星、水星、木星と星が三つ集まっています。ですから目標に向かってまっしぐらに突き進む性格です。これの正反

対にあるのが双子座です。いつもクルクル変わるタイプですが、射手座からすると、双子座の人を理解するのが非常に困難です。実は、私の妻が双子座です。ですから対極の星座を理解する難しさを、身を持って実感してきました。

それでは射手座と双子座が結婚したら、結果どうなるでしょうか？全く正反対で、理解できない相手と毎日を共にするわけです。ところが時間の経過とともに、だんだんと「ああ双子座とは、こういうタイプなんだな」と、理解とまでいかなくとも認められるようになっていくのです。そして、相手の行動を許せるレベルまで自分が変わってくると、相手の全てが自分の手の中に入ってくるのがわかります。もともと正反対の極と極の相手ですから、結果として十二星座全部の性質が手の中に入ってくるのです。いわゆるこれが「人格が完成する」ということです。仏の道とか、聖書でいえば十二の真珠門の完成と同じことです。

これを十干で説明してみます。甲乙丙丁戊己庚辛壬癸のそれぞれ正反対にあるのが干合干です。四柱推命の原書には「干合干だから相性がよい」と書いてありますが、それは嘘です。

■正反対の位置「十干」の「干合」について解説

例えば甲は理論的で読書好きですが、ものごとを理屈で考える人が、感情をどんどん表に出して、

何でも好き嫌いだけで判断するような己の人を、好きになると思いますか？こういう二人の相性が本当に良いと思いますか？実際は、性格が全く違うため、理解し合うことができません。一方、不思議と一緒に頑張ってしまいう関係でもあります。(第一章六十三頁図参照)

ですから原書の言う「干合」とは「全く正反対の資質を持っているものが、不思議と一緒にになってしまう」という意味です。これは、相性が良いこととは別の話しです。原書のいう「相性が良い」とは、「訳の分からない相手と一緒に頑張って、お互いを理解する修行ができる関係」のことを指しているのです。

■相性問題、天野氏の実例

例えば、私(天野氏)は日干が壬です。常に時代の先を読んで、時代をつくっていくタイプですが、反対の位置にあるのが丁です。穏やかに、のんびりいきましようという人ですが、私の妻が日干が丁です。

更に、十二運をみると。胎の正反対が帝旺。沐浴の反対が死。養の反対が衰。長生の反対が病。冠帯の反対が墓。建祿の反対が絶です。それぞれ全く違うタイプで、お互いを理解することが大変難しい関係です。

そして私(天野氏)が胎です。常にオリジナルのものをつくろうとします。仕事でも他社の真似は

せず、全てオリジナルで他社がやったことがないからやるタイプです。正反対に位置するのが帝旺ですが、実は私の妻が帝旺です。

ですから、私（天野氏）の場合、自分が全く理解できない宇宙人と結婚してしまったようなものです。そのため一生懸命相手を理解し、認める努力が必要です。しかし、そこから逃げ出さず、理解する努力を続けていると、ドンドンと自分の器が大きくなっていくのです。自分の器を大きくするための修行が、原書の暗示する相性の原理であり、結婚の原理と思ったほうがいいのです。

■「理解できない相手」こそ本当の意味の「いい相性」のパートナー

そのため「私とあの人は相性がいいんでしょうか？」と相談を受けたとき、相談者の口から「あの人が理解できないです」とか「あの人の言っていることがわからないです」「あの人の行動がわかりません」という言葉が出てきたら、「ああうらやましい、相性がいいですね。修行になっていますね」と答えればいいのです。「あの人のことは、十分よく理解できます」という状態では、修行になっていません。その場合「相性悪いですね」と言え方がいいのです。

■相性について通変星で解説

この原理を通変星で応用してみます。通変星には比劫、食傷、財星、官星、印星のそれぞれのグループがあります。例えば、私（天野氏）は財と官が強いですから、逆の比肩・劫財や印星が理解しにくいのです。ですから理想の結婚相手としては、反対のタイプの変通星を持っている人がベストでしょう。その人と一緒になると、全く理解できず修行になるので「いい相性」なのです。しかし実際のところ、私の妻は同じタイプの財星です。

これは「通変星ぐらいいは、同じ価値観のものを傍に置いてやろう」という神様の計らいなのかもしれません。日干、十二運、星座に加えて通変星まで違ってくる、相当きついのは確かです。十干の反対は、なんとか耐えられます。十二運の反対も、なんとか耐えられます。星座の反対も、なんとか耐えられます。しかし通変星の反対を耐えていくのは、なかなか厳しいものがあります。ものすごく腹が立ちます。

ですから私の場合、通変星まで反対の人では、ちょっと修行のレベルを越えているので、同じ通変星の人が妻としていいのではないか、という神様の計らいだと勝手に思っています。ですから自分に自信のある人は、相手の変通星を出して価値観が正反対の人を結婚相手に選んでもいいのです。

ちなみに私（天野氏）は仕事上でも印星や比肩の人とは、今のところパートナーとして出会って

ません。大体、財と官の人です。しかしこれから修行がすすんでいくと、印星や比劫の強い人と出会うようになるのでは、と思っっています。

以上、これまでに解説した原理を頭に置いて、次のテーマに入っていきます。

■「あなたの結婚相手はどんな人？」という相談へのアドバイス

次のテーマは「あなたの結婚相手はどんな人？」です。

まず正法から説明します。女性からの相談を受けた場合、パートナーとなる男性を象徴するのは火星です。逆に男性から相談を受けた場合、女性を象徴するのは金星です。ですから女性から相談を受けたときには、女性の火星の位置に入っている星座が何かで判断をします。男性から相談を受けた場合、男性の金星の位置に入っている星座が何かで判断をします。正法は一種のパズル脳の発想ですから、現実には、このとおりに上手くいきません。しかし正法ですから、一通り簡単に説明していきます。

【相談】「私の結婚相手はどんな人でしょうか？」

おひつじ座（が男性なら金星、女性なら火星にある） ・ 「勇気があり独立心を持っている人が、あな

たの結婚相手です」

おうし座 「落ち着いている人が、あなたの結婚相手です」

ふたご座 「敏感で変わり身の早い人が、あなたの結婚相手です」

かに座 「人を安心させる風貌や雰囲気を持っている人が、あなたの結婚相手です」

しし座 「人目につく華やかさを持っている人が、あなたの結婚相手です」

おとめ座 「細かいところまで気を使う分析的な人が、あなたの結婚相手です」

てんびん座 「人間関係のバランスをとることができる礼儀正しい人です。ちよつと固い感じがありますが、その人が、あなたの結婚相手です」

さそり座 「魂と魂の触れ合いを極端に求めます。非常に勘も鋭いです。相手がちよつと浮気っぽい

気持ちになれば、簡単に見抜いてしまうような勘の鋭さを持っている人が、あなたの結婚相手です」

いて座 「目的に向かってまっしぐら、というタイプが、あなたの結婚相手です」

やぎ座 「融通がききません。信念を持っています。それに対して100%自分で責任をとっていく人が、あなたの結婚相手です」

みずがめ座 「人を大切にするので、人から好かれます。また、現実の生活感があまりしない人です。どこか浮世離れた雰囲気の人ですが、その人が、あなたの結婚相手です」

うお座 「世俗的なことにあまり関心がありません。それよりも人類愛に関心を寄せているような人が、あなたの結婚相手です」

このように解説するのが正法です。

■西洋占星術による「相性問題」、奇法での解説

次に奇法による説明をします。先ほどの原理を応用すると、例えば牡羊座の反対にあるものが天秤座です。バランスをとる星座と、バランスをとらない星座です。バランスをとる人には、バランスのとれない人が結婚相手となり、バランスのとれない人にはバランスがとれる人が結婚相手となります。

おひつじ座とさそり座・勘が異常にするどい人には、勘の鈍い人が結婚相手にいいのです。

ふたご座といて座・目的に向かってまっしぐらの人には、変わり身の早い人が結婚相手です。

かに座とやぎ座・蟹座は人を安心させるので人が寄ってきます。真反対は山羊座です。信念が強く、あまりにも責任感が強過ぎて、怖い顔をしているような人が結婚相手です。「ねばならない」の部分が強すぎる人には、ゆるゆるとした雰囲気の人が結婚相手です。

みずがめ座としし座・人をととても大切にする人には、逆に自分のやりたいことをやる人が結婚相手にいいのです。

おとめ座とうお座「非常に細かく現状分析して気を配っている人には、全く現実に関心がなく「人類愛だ、博愛だ」と言っているような人が結婚相手にいいのです。

■「結婚」の本当の意味とは？

自分には理解できない相手を、完全に理解するところまでいかなくとも、認められるようになることが重要です。なぜなら、これが結婚の意味する本当のところだからです。つまり結婚は修行なのです。自分の器を大きくするための修行です。西洋占星術的にいえば、結婚とは、十二星座の全部の性格を、自分の手の内に入れるための修行なのです。ですから「パートナーのやることが理解できないのです」という言葉を相談者から聞いたら「ああいい修行してますね」と誉めてあげればいいのです。

■「あなたを幸せにしてくれる人はどんな人？」という相談へのアドバイス

次に、同じ内容を十干で説明をします。タイトルを少し変えて、結婚相手ではなく「あなたを幸せにしてくれる人はどんな人？」というテーマです。

相談の内容は、「自分を幸せにしてくれる人は、どんな人でしょうか？」です。「私はあの人を幸せにしてあげられるでしょうか？」という質問はありません。全部自分のことです。「欲しい、欲しい、

幸せが欲しい」という相談はあっても、「幸せをあげたい、あげたい」という相談はありません。ですから答えは決まっています。

【相談】「私を幸せにしてくれる人とはどんな人でしょうか？」

甲「あなたはプライドが高い人です。ですから『実力もないのに、そんなプライド捨てたら！』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です。こんなふうに感情的に叱れるのは干合干の己です。『理屈ばかり言っていないで、人情的に考えたら』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにします」

乙「あなたのことを『なぜ周囲のことばかり気にしているの、やりたいことをやったらいいじゃない！』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

丙「あなたのことを『思いつきばかりで行動しないで、きちんと計画立ててやったら！』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

丁「あなたのことを『好き嫌いばかりで判断しないで、もっと冷静になって合理的に判断したら！』

と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

戊、「あなたのことを『意志が強いのはいいけど、あまり人の言うことを聞かないのは、ただの頑固者でしょ！頑固爺さん、頑固ばあさんでしょ！』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

己、「あなたのことを『いつまでもグジグジやってないで、人の悪口なんか言っていないで、一人でやってみたら！』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

庚、「あなたのことを『直感でピンときて、ガンガンやるのはいいけども、たまにはじっくり考えてやってみたら！』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

辛、「あなたのことを『周りばかり気にしてないで、やりたいことをやってみたら！』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

壬、「あなたのことを『これから先どうなるんだ？と計算ばかりしていないで、好きだったらやって

みたら!』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

癸「あなたのことを『周りのご機嫌ばかりとってないで、もっと自信を持って信念を貫いてみなさいよ!』と叱ってくれる人が、あなたを幸せにしてくれる人です」

■「異性によって運が下がる時」という相談へのアドバイス

次のテーマは「異性によって運が下がる時」です。少し応用問題です。

異性によって運が下がる時とは、どういうときでしょうか？

答えは、……。「異性に対して依存心を持っているとき」です。

自分の人生を異性に依存してしまうと駄目になります。運が下がります。また、異性に執着しすぎても運が下がります。異性の肉体に執着する。異性のお金に執着する。

男性の場合、女性の肉体に執着します。女性の場合、相手が金持ちだったら相手のお金に執着します。これらは、全部エゴですから運が下がっていきます。依存したり執着すると、結果として自分らしさを失ってしまいます。その結果、運が下がります。このことを十干を使って詳しく解説してみます。

【相談】「異性によって運が下がるのはどんなときでしょうか？」

甲、「あなたは本来、非常に知的な人ですが、異性にのめり込んで、快楽に溺れる度合いが過ぎてしまつと運が下がります。甲の本来の良さが無くなつてしまつと運が下がります」

乙、「あなたは異性にのめり込んでしまつ、異性に誘われて、なんでも強引にやるようになると運が下がります」

丙、「あなたは異性にのめり込んで、相手の気持ちを考えすぎて神経質になると運が下がります」

丁、「あなたは異性にのめり込んで、義理人情を忘れてしまつと運が下がります」

戊、「あなたは異性にのめり込んで、自分の意志より、他人の情に流されるようになると運が下がります。もともと意志が強いタイプですから」

己、「あなたは異性にのめり込んで、地位や名誉を目指すようになる」と運が下がります。もともと地位とか名誉、ステータスにこだわらないタイプです」

庚、「あなたは異性にのめり込んで、遠慮するようになる」と運が下がります。もともと人の気持ちなど無視して、ガンガンやるタイプです。『異性から嫌われたらどうしよう』と思うようになり、遠慮がちになると運が下がります」

辛、「あなたは本来、デリケートな人です。異性にのめりこんでしまい、他人の気持ちを無視して、強引に物事をすすめるようになる」と運が下がります。もともとデリケートな自分を無視したことになるからです」

壬、「あなたはいつも将来について考え頭をめぐらせています。しかし、異性にのめり込んでしまい、『今日が楽しければそれでいいや』と、ギリギリ的な発想になってしまう」と運が下がります」

癸、「あなたは異性にのめり込んで異性に従いすぎると運が下がります。周りのご機嫌をとるのがもともとの特徴ですが、度が過ぎてしまうと運が下がります」

■ 「異性と恋に落ちるときのプロセス」という相談へのアドバイス

次のテーマは「異性と恋に落ちるときのプロセス」です。

この場合も、恋愛だからといって特別変わった見方をする必要はありません。普段の価値観が恋愛の場面でそのまま出てきます。このことを通変星を使って解説していきます。

【相談】「私の恋愛はどういうきっかけで始まりますか？」

比肩・肩を比べるという意味なので、友達づきあいや競争相手が欲しいと思っています。ですから、友人やライバルの関係から発展して、恋愛がスタートしていくでしょう。

劫財・目標に対して夢中になるタイプです。ですから、何かに夢中になって没頭しているとき、その仲間として知り合い恋愛がスタートしていくでしょう。

食神・食べたり飲んだりするのが大好きです。ですから、飲み食いをもにするとところから恋がスター

トするでしょう。

傷官・シャープな頭脳を持っています。そのため、どうしても議論しがちです。ですから議論をするような関係から恋愛がスタートするでしょう。

偏財・相手を教え導く立場から、恋がスタートするでしょう。

正財・相手から尊敬される立場として、恋愛がスタートするでしょう。

偏官・官星は従うという内容です。ですから相手からリードされる形で恋愛がスタートするでしょう。
(偏官は、どちらかといえば相手の持っている信念や理念、そういうものに魅かれていきます)

正官・どちらかといえば相手そのもの、相手の人柄に従っていきます。人柄がいいなと思い、惚れて従っていく形で恋がスタートするでしょう。

偏印・遊びが大好きです。ですから、遊びの中から恋愛がスタートするでしょう。(偏印の場合、遊

びとは、どちらかという快樂のことです)

印綬―遊び好きです。ですから、遊びを通じた出会いから恋愛がスタートするでしょう。(この場合の遊びは、偏印と少し違い、趣味や学問分野などに関わる遊びのことです)

このテーマは「その人らしさが発揮されていれば、自然と恋に落ちる」が結論です。自分らしく生きていれば、自然と異性から好意を持たれます。

恋愛の悩みを抱えている人を分析してみると、「この人、食傷持つてるのに食傷らしくないね」とか「この人、比肩・劫財がいっぱいあるけど、比劫らしさが無いね」という場合がほとんどです。その人らしさがありません。四柱推命の命式をみても、本人と全然違う場合がほとんどです。ですから「その人らしくあればそれでいい」が本当の答えです。 続いて、このことを通変星を使って説明してみます

■ 「気になるあの人を、振り向かせるには？」という相談へのアドバイス

次のテーマは「気になるあの人を、振り向かせるにはどうしたらいい？」です。

まずこういう質問は、ほとんどの場合、気になるあの人から「愛されたい」という、受身の心が

動機になっていきます。根本的に、これでは駄目です。話になりません。「愛されたい」でなく「愛したい」という状態に心が転換しなければ駄目です。

あの人から愛されたい、という受身の状態は「愛が欲しい欲しい」と言っていることと同じです。相手からみたら「あげなければいけない」ということで負担になります。そうではなく、愛情を与える主体となって「自分があの人を愛するには？」という悩みが変わらないと駄目です。悩みが間違っているのです。

■「愛されたい」という悩みに、相談者本人の命式を使う

ですから最初に、気になるあの人々の命式を出して鑑定するのではなく、相談者本人の命式を出して「あなたらしくありなさい」と解答するのです。また上級者になると、さらに違った解答の仕方がありますが、それは後で説明します。以下、相談者がどの通変星を持っているかによる、このテーマの解答をみていきます。

【相談】「気になるあの人を振り向かせるにはどうしたらいいでしょうか？」

相談者が比肩・相手との共通点をみつけて仲良くなりましょう。それが、あなたらしい姿であり愛しかたです。

相談者が劫財・何か夢中になっているものがあつていいはずですが、ですから、夢中になっているものに焦点を合わせ、そこに気になるあの人を引っ張りこむのです。それが、あなたらしい姿であり愛しかたです。

相談者が食神・お酒でも飲んで、楽しく一緒に過ごせばいいでしょう。それがあなたらしい姿であり愛しかたです。

相談者が傷官・非常にシャープな感性持っています。いろいろと世の中で問題となっている事にも関心があるはずです。ですからニュースや時事問題の話をしたりするのです。それがあなたらしい姿であり愛しかたです。

相談者が偏財・相手が一体何を考えているのか、相手のニーズが何なのか、相手が何をしてほしいのに関心があり、いつもみてます。ですから、相手の困っているところを発見してあげなさい。それがあなたらしい姿であり愛しかたです。

相談者が正財―もともと家庭的なセンスがあります。パートナーを持つ心地よさを訴えることです。それがあなたらしい姿であり愛しかたです。

相談者が偏官―信念とか理念に従うタイプです。ですから、まずあなたが信念とか理念をしっかりと持って生きることでです。そこに気になるあの人を巻き込んでいくのです。それがあなたらしい姿であり愛しかたです。

相談者が正官―人を尊敬できる才能を持っています。ですから、あの人がいいところを尊敬するのです。それがあなたらしい姿であり愛しかたです。

相談者が偏印―一緒に快樂を追及するのです。それがあなたらしい姿であり、愛しかたです。

相談者が印綬―楽しいことが大好きなタイプですが、どちらかといえば学問とか趣味の分野に関心があります。ですから、何か学問や趣味の分野にあの人を巻き込むのです。それがあなたらしい姿であり愛しかたです。

「その人らしくありなさい」が結論です。「愛されたい、そのために何をやる？」という発想ではなく、こういう方法で愛しなさいという無理のない方法をアドバイスしましょう。

これが上級者には、違う解答をします。上級者とは、いろんな人間関係を経験して全ての価値観を自分の手の内に取得した人のことです。比肩、劫財、食神、傷官、偏財、正財、偏官、正官、偏印、印綬の全部の価値観を「うんそうだ、それでいいんだ」と認められる人です。そういう人は相手の価値観を素直に認めることができるので、「相手の生年月日を出して通変星をみればいい」が解答になります。

【相談】「気になるあの人を振り向かせるにはどうしたらいいでしょうか？」

相手が比肩・劫財、「仲間である」という関係が好きで、自分との共通点を欲しがっています。ですから共通点を見つけてあげればいいでしょう。

相手が食神・お酒でも飲んで楽しくやるのが好きです。ですから、あなたがそれに合わせてあげればいいでしょう。

相手が傷官・批判的な面があります。何でも指摘するところがあります。ですから新聞に載ったニュースや事件などを、いろいろと議論したいと無意識に思っています。それに合わせてあげればいいのです。

相談者が偏財・自分の悩みを素直に相談してみればいいでしょう。

相談者が正財・「私、あなたのいいパートナーになれるんじゃないですか？」と言ってみればいいでしょう。

相談者が偏官・あの人は理念、信念に従って生きてます。「あなたの信じてる理念と信念は何ですか？」と聞いてみるといいでしょう。

相談者が正官・誰かを尊敬したいという思いがあります。あの人から尊敬される人物になりたいと思えばいいでしょう。

相談者が偏印・快樂を求めて生きています。ですから「あの人が思う快樂とは、なんだろう？」と一緒には快樂を追求したらいいでしよう。

相談者が印綬・何かを教えたり教わりたい人です。ですから「何かを教えてくださいませんか？」と学びを共有すればいいでしょう。

相手の生年月日を出して、相手の価値観に合わせてあげるのが上級者です。ただし、これができる人は絶対に悩みません。ですから人に相談することもありません。まして、占い師のようなどころには絶対に来ません。しかし普通レベルの人は、自分の持っている価値観以外の人を許せません。「あいつの思いは間違いだ」と、決めつけてしまう場合が多いのです。

■自分に無い通変星の価値観をつかむことが重要

例えば、財星が強い人は「楽しんで金稼ぎたい、楽しんで何かやりたい」「苦労するよりも快樂」という、印綬のなまけものの部分を目の当たりにすると好きになれないものです。「楽しんでどうにかしたい」という価値観を認めたくないのです。しかし現実では、そこを認めなければ人間関係がうまくいかな

いので認める努力をすることになります。すると、それが五年、十年続くと、印綬の発想も自分の手の中に入ってくるようになります。これにはやはり努力が必要です。

ほとんどの人の場合、自分の持っている通変星の月柱天干、年柱天干の二つが作用しやすいです。次に月支元命です。普通は最大理解できてもこの三つぐらいです。あえてもう一つみるとすれば時柱の通変星です。人によってはここが作用している人もいます。

普通の人の場合、多くても四つの通変星しか持ってないですから、それ以外の通変星は理解できません。理解できないというより、認めることができません。さらには認められないというより、許すことができないといったほうがいいでしょう。

これは十干についても共通しています。続いて同じテーマ「気になるあの人を振り向かせるには？」を、十干を使って説明してみます。

【相談】「気になるあの人を振り向かせるにはどうしたらいいでしょうか？」

あの人が**甲**・自分には無い己のような性格が欲しいはずです。ですから親しみやすさとか、庶民的な雰囲気を出していくのです。そうすると相手から好かれるでしょう。（このケースで「私は己的な性格を持ってないですが、どうしたらいいでしょうか？」と質問されたら、「勉強して、これから修得

するしかありません」と言えはいいです)

あの人が**乙**、自分には無い庚的な性格が欲しいと思っています。ですから、決断力をアピールすればいいのです。あの人を惹くことができます。

あの人が**丙**、自分には無い辛的な部分を欲しいと思っています。ですから、デリケートで繊細な部分をアピールすればいいのです。あの人を惹くことができます。

あの人が**丁**、自分には無い壬的な部分を欲しいと思っています。ですから、どんどん新しいものに関心を持っていることをアピールすればいいのです。あの人を惹くことができます。

あの人が**戊**、自分には無い癸的なものを欲しいと思っています。ですから控えめで、誰とでも仲良くなれる協調性があることをアピールすればいいのです。あの人を惹くことができます。

あの人が**己**、自分には無い甲的なものを欲しいと思っています。ですから、しっかりした目標を持つて、それをきちんと計画して実行していくところをアピールしたらいいのです。あの人を惹くこ

とができます。

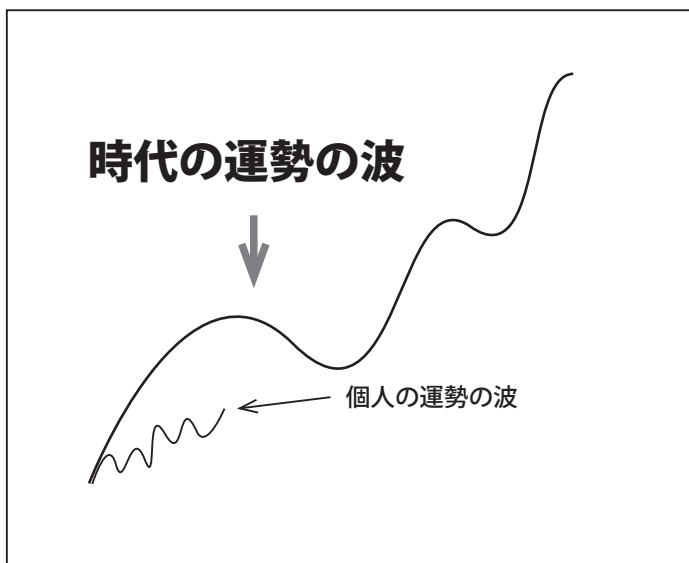
あの人が庚・自分には無い乙的なものを欲しがってます。ですから、さりげない心配りができることをアピールしたらいいのです。あの人の気を惹くことができます。

あの人が辛・自分には無い丙的なものを欲しがってます。ですから、明るくて、パワーがあるところをアピールすればいいのです。あの人の気を惹くことができます。

あの人が壬・自分に無い丁的なものを欲しています。ですから、穏やかで感情的にならないところをアピールしたらいいのです。あの人の気を惹くことができます。

あの人が癸・自分には無い戊的なものを欲しています。周りとの摩擦を気にしない、強い意志があることをアピールしたらいいのです。あの人の気を惹くことができます。

「自分の中に、十干全ての種類を修得して持っていれば、どんな相手からも好かれる」というのが結論です。ですから許せないと思う人や、嫌だから近づきたくないとと思う人とドンドンつきあって、



相手の性格を許す修行を積極的にしたほうがいいのです。

■「今年の運勢は？」という相談へのアドバイス

次のテーマは年運に関するものです。「今年の運勢どうなりますか？」あるいは「来年の運勢どうなりますか？」という質問です。

こういう質問に対しての答えは簡単です。

特に今は大きな時代の転換期です。時代の転換の波がこれぐらい（図参照）だとすると、

個人のリズムは、はつきりいつてこんなものです。（図参照）今は個人の運勢をみる必要がない時代なのです。

特に、二〇〇七年から二〇〇八年あたりにかけて金融パニックが発生しましたが、歴史を振り返って

みると、金融パニックが発生すると必ずエネルギー転換が起こっています。例えば七十年前の世界大恐慌のときは、石炭から石油へエネルギーが転換しました。今回も同じです。石油中心から自然エネルギーへ大転換している最中です。エネルギーが大転換することは、社会生活そのものが変わります。価値感、商品、サービスなど全てが変わっていきます。

今は、そういう大きな流れの中なので、その中で自分がどう生きるかを考えるとき、個人レベルで今年、来年はどうなるかというのは、あまり関係ありません。ですから「とにかく前へ進む」これが答えなのです。

前へ進むとはどういうことなのか、占いを使って解説してみます。巡ってくる年運の変通星を使います。

【相談】「私の今年の運はどうでしょうか？」

比肩・リスク覚悟でやってみなさい。

劫財・とにかく夢中になりたいことがあるはずですよ。夢中でやってみなさい。失敗を怖れるときではありません。とにかく前へ進むのです。

食神－何か楽しいと思っっていることがあるんじゃないですか？それやりなさい。とにかく前へ進むのです。

傷官－非常に鋭い頭脳を持っているので、必ず周囲を批判しています。それならば、周囲から反対されることをやりなさい。とにかく前へ進むのです。

偏財－人々が何を望んでいるのか欲求がみえているはずですが、それならば、人々の望んでいるものを満たしてあげなさい。とにかく前へ進むのです。

正財－豊かな気持ちになれると思えることをやりなさい。とにかく前へ進むのです。

偏官－信念とか理念に従っていくことですから、自分自身の信念理念に向かったただただ走っていきなさい。とにかく前へ進むのです。

正官－周囲から評価されたい思いがあるはずですが、ですから、周りから評価される何かがあれば、そ

れをやりなさい。もしくは、あなたを評価してくれる人に従っていきなさい。とにかく前へ進むのです。

偏印―ピンときた何か、自分の感性に従ってやってみなさい。とにかく前へ進むのです。

印綏―必ず何かに興味をもつときですから、自分の関心のあるもの、興味のあるものをしていきなさい。とにかく前へ進むのです。

とにかく「前へ前へどんどん進むこと」が結論です。

